

NEWS LETTER NEWS LETTER

2022.3
第106号



公益財団法人
麻薬・覚せい剤乱用防止センター
Drug Abuse Prevention Center



NEWS LETTER

2022.3・第106号

CONTENTS

随想

●「監視指導・麻薬対策課長就任にあたって」

厚生労働省医薬・生活衛生局 監視指導・麻薬対策課長 佐藤 大作 1

かいせつ

●薬物乱用防止とくすり教育

一般社団法人 くすりの適正使用協議会 理事長 倍木 登美子 2

誌上研修「薬物乱用防止指導者のための実践講座」

●ライオンズクラブの薬物乱用防止教室活動

中学校における一時間授業（50分間）の実践

ライオンズクラブ国際協会333A地区 薬物乱用防止教室アドバイザー 八子 昇道 6

●いまこそ思い起さなければならないこと

～薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」について～

(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター理事長 藤野 彰 14

●令和3年度 麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動地区大会 15

●薬物乱用防止キャラバンカー30年の軌跡 16

●2021年度「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金状況 20

●令和2年中の薬物情勢について 22

●センターだより 30

●ご寄付団体及び賛助会員 32

**厚生労働省医薬・生活衛生局
監視指導・麻薬対策課長**

佐藤 大作

令和3年9月14日に医薬・生活衛生局監視指導・

麻薬対策課長を拝命いたしました。これまで30年近く厚生行政・薬事行政に携わってきましたが、8年ぶりに同課に着任し、身の引き締まる思いです。薬物事犯の動向が以下に述べるように近年大きく変わってきたことに驚きを感じるとともに、国民の生命と健康に直結する医薬品等の監視指導、麻薬、覚醒剤等の薬物対策を担当する者として、刻々と変わりゆく薬物犯罪の状況や麻薬医療の環境にも対応し、国民の健康を守る責任と使命の重大さを改めて実感しています。

就任にあたっての今後の抱負を述べさせていただきます。我が国の薬物情勢については、近年、大麻事犯による検挙者が7年連続で増加しており、令和2年は5,260人と過去最多を更新し、「大麻乱用期」とも言える状況です。また、大麻事犯による検挙者数のうち65パーセント以上を30歳未満の若年層が占めています。一方、覚醒剤事犯による検挙者は減少傾向にあるものの、再犯率は60パーセントを超えた高水準を推移しており、再乱用防止についても積極的に取り組んでいかなければなりません。

また、新型コロナウイルス感染禍でも、違法薬物の乱用が進行しており、近年は大型密輸事犯が相次ぎ、違法薬物の押収量は増加傾向にあり、警戒が必要な状況と認識しています。令和2年、覚醒剤の押

収量については5年振りに1トンを下回ったものの、

依然として高水準を推移しているだけでなく、コカインやMDMAの押収量は前年に比べ大幅に増加していることから、乱用薬物の多様化も一段と進んでいる傾向が見られ、薬物情勢は依然として憂慮すべき深刻な状況にあります。

こうした状況を踏まえ、厚生労働省としては、平成30年8月に厚生労働大臣を議長とする薬物乱用対策推進会議において策定された「第五次薬物乱用防止五か年戦略」に掲げられた目標を実現すべく、青少年を中心とした啓発活動による薬物乱用の未然防止、薬物乱用者に対する再乱用防止、水際対策の徹底による薬物の密輸阻止の強化をはじめ、様々な取組を実施してきました。我が国では、薬物乱用の未然防止を目的とした『ダメ。ゼッタイ。』普及運動

をはじめ、青少年に対する普及啓発運動を実施して

おり、違法薬物の生涯経験率が諸外国と比較して著しく低く抑えることに大いに寄与してきましたが、今後の薬物対策としても、引き続き、違法薬物に手を出させない未然防止の取組みを維持していくことは重要です。

今後とも、監視指導・麻薬対策課、そして全国の地方厚生局麻薬取締部の活動に対する皆様の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

特に、大麻事犯の近年の増加を受け、特に若年層での大麻の乱用が拡大していることに対し、科学的エビデンスに基づいた大麻の有害性に関する正確な情報を取りまとめ、単に薬物使用の恐怖を煽ることなく、SNSなども活用し、若年層のコミュニケーション

や教育現場に対しても取り組みが求められているところです。一方、医療の世界で大麻成分を含む医薬品の有用性が国際的にも評価されるようになってきたことに對応し、かつ、未然防止の観点から大麻の使用に対する規制を強化していくという政策課題にも取り組んでいかなければなりません。

俵
木
登美子

くすり教育

1. はじめに

薬物乱用防止教育は、小学校学習指導要領体育編において、「病気の予防」の中で、身に付けるべきことの一つとして、「喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること」を理解することが掲げられ、小学校で行われるべき教育に組み込まれています。中学校、高等学校でも同様に、学習指導要領において薬物乱用防止教育が組み込まれています。薬物乱用防止教育において薬物の心身への影響を理解するためには、「くすり」は正しく使用しなければならないものであることを理解することが大前提であり、「くすり教育」が基礎にあるべきだと考えていました。

くすりの適正使用協議会では、長く「くすり教育」の支援活動を行ってきています。

くすりの適正使用協議会は、1989年に製薬企業11社により創立された組織です。現在は製薬企業23社が会員となって活動が支えられています。医薬品に関する知識の向上を図り、医薬品の適正使用を図ることを目的として活動しています。製薬業界は、1960年代のサリドマイド禍において、「製薬企業はベネフィットしか言わない」と大きな批判を受けました。これを教訓として、製薬企業は医薬品の効果だけでなく、リスクも含めて、正しい情報を社会に発信していかなければなりません。RAD-AR (Risk/benefit Assessment of Drugs-Analysis and Response) 活動が提唱され、日本におこしやRAD-AR活動を行う

団体として当協議会が創設されました。

協議会では、くすり教育の支援活動に加え、中核的事業として、医療用医薬品（医師の処方せんに基づいて交付される医薬品）についての患者向けのわかりやすい情報「くすりのしおり」をWebサイトで提供しているほか、患者・一般の方を対象とした医薬品に関する基礎知識の啓発活動、さらに医薬品のリスクとベネフィットを評価するための薬剤疫学の普及啓発活動を進めています。本稿では、くすり教育の支援活動と「くすりのしおり」提供活動についてご紹介します。

2. くすり教育の支援活動

医薬品は、私たちの体が持っている自然治癒力を助けて、病気の予防や治療を行うのですが、どのような医薬品にも有効性とともに有害な副作用を発現するリスクがあり、正しく使用しなければ、時として重篤な副作用被害を生じます。

協議会が、くすり教育の授業を受けた小中学生17,782名（小学生7,856名、中学生9,926名）を対象として行ったアンケート調査（収集期間2008.4.1～2020.3.31）の結果を図1に示します。

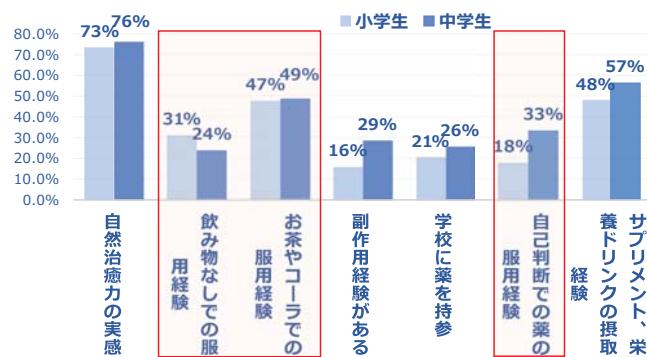


図1 小中学生に対するアンケート調査結果

また、協議会が養護教諭を対象に実施した医薬品に関する「困った事例」の調査（収集期間2009.4.1～2011.3.31、回答者270名）の結果を図2に示します。生徒同士で気軽に医薬品をあたりまわしたりしている事例が多く報告されています。ほか、保護者に処方されたかぜ薬を子供に持たせる事例など保護者においても医薬品についての基本的な知識が十分でないことを窺わせる報告もあり、子供たちとともに大人にも医薬品についての正しい知識を普及しなければならないことを示す結果でした。

協議会では、このような状況を受けて、医薬品の適正使用を進めるためには、子供たちへのくすり教育がしっかりと行われることが重要だと認識し、20年以上前から子供たちに対するくすり教育の支援活動を行っています。現在では、中学校、高等学校の学習指導要領には、医薬品を正しく使用することを教えるよう規定されており、協議会では、学校薬剤師、養護教諭、保健体育教諭を対象として、「くすり教育」の授業の組み立てや授業で使える教材の紹介などの研修（出前研修・図3）を実施してきました。これまでの研修参加者は一万人を超えており、図4に示す通り学校薬剤師、養護教諭が多く受講されています。

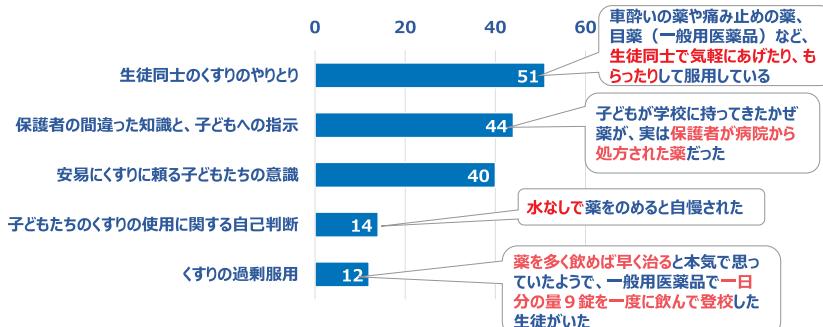


図2 養護教諭への「困った事例」の調査結果

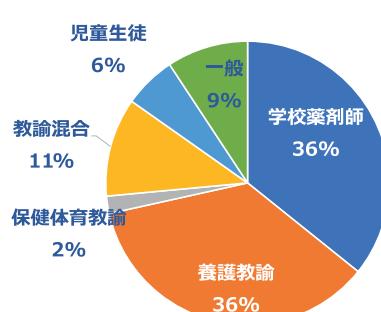


図4 出前研修受講者内訳



図3 出前研修風景

3. くすり教育と薬物乱用防止教室

公益社団法人日本薬剤師会では、毎年、全国の学校を対象として全国学校保健調査を実施しています。2019年度の調査においては、くすり教育の実態について調査が行われました。まず、くすり教育の実施状況についてみてみますと、2019年度全国学校保健調査集計結果報

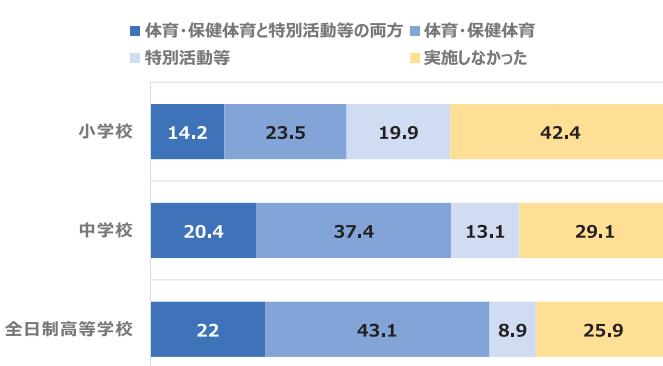


図5 くすり教育の実施状況

また、くすり教育を学校薬剤師が実施したケースについて、くすり教育の授業が行われた時間帯について聞いたところ、小学校 ($n=4,329$) の86・4%、中学校 ($n=1,790$) の85・1%、全日制高等学校 ($n=439$) の83・1%が薬物乱用防止教室の一部としてくすり教育を実施していることがわかりました（図6）。

告書によれば、図5に示すとおり、小学校 ($n=16,118$) の57・6%、中学校 ($n=7,810$) の70・9%、全日制高等学校 ($n=3,018$) の74・0%において、くすり教育が行われていました。学習指導要領にくすり教育に関する規定のある中学校、高等学校では、7割以上の学校でくすり教育の授業が行われており、学習指導要領にくすり教育に関する規定が未だない小学校では実施率が下がりますが、6割近くの学校においてくすり教育の授業が行われています。

長い人生において誰もが医薬品と無縁ではいるのではなく、医薬品の適正な使用について理解することは重要です。くすり教育の授業が小・中・高等学校と継続的、段階的に行われ、子供たちが基本的なルールを学ぶことが極めて大切です。

協議会では、くすり教育が薬物乱用防止教室の一部の時間を使って行われている実態を踏まえ、現在、薬物乱用防止教室の始めの導入部分に活用いただけの教材の開発を進めています。医薬品の使い方には基本的なルールがあることを学んだあとに、ルールを外れるとそれは薬物の乱用になるということについて学べるような教材を開発中です。全国で多数行われている薬物乱用防止教室において、是非医薬品の使い方の基本ルールについてお話をしていただけ幸いです。小学校、中学校、高等学校と繰り返し基本ルールを学ぶことで、子供たちの医薬品リテラシーの向上が図られ、ひいては薬物乱用防止にもつながるものと期待しています。

長い人生において誰もが医薬品と無縁ではいるのではなく、医薬品の適正な使用について理解することは重要です。くすり教育の授業が小・中・高等学校と継続的、段階的に行われ、子供たちが基本的なルールを学ぶことが極めて大切です。

協議会では、くすり教育が薬物乱用防止教室の一部の時間を使って行われている実態を踏まえ、現在、薬物乱用防止教室の始めの導入部分に活用いただけの教材の開発を進めています。医薬品の使い方には基本的なルールがあることを学んだあとに、ルールを外れるとそれは薬物の乱用になるということについて学べるような教材を開発中です。全国で多数行われている薬物乱用防止教室において、是非医薬品の使い方の基本ルールについてお話をしていただけ幸いです。小学校、中学校、高等学校と繰り返し基本ルールを学ぶことで、子供たちの医薬品リテラシーの向上が図られ、ひいては薬物乱用防止にもつながるものと期待しています。

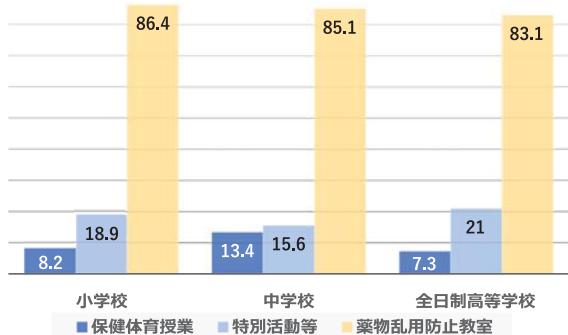


図6 くすり教育の実施時間帯

公益社団法人日本薬剤師会
2019年度全国学校保健調査集計結果報告より一部改変のうえ抜粋

協議会では、くすり教育の専用Webサイト（左の二次元コード）において、くすり教育の授業に活用できる資材、パワーポイント、動画、模型などの教育資材を提供していますので、併せてご活用ください。

4. くすりのしおりの提供活動

さて、協議会では、くすり教育の支援とともに、活動の中核として20年以上前から「くすりのしおり」（図7参照）をホームページ（左の二次元コード）において提供しています。「くすりのしおり」は、医療用医薬品の情報を患者さんにもわかりやすく簡潔にまとめたもので、製薬企業が厚生労働省から承認又は確認を受けた医療関係者向けの情報をもとに作成しています。現在、約16,800枚の「くすりのしおり」を提供しており、外来処方され、薬局で受け取れる医薬品については概ね網羅しています。その $\frac{2}{3}$ については、英語版も作成しており、在日外国人の方への説明に利用されているほか、日本人の方が海外渡航される際の携行用にも活用されています。



図7 くすりのしおり

また、協議会が2020年に一般の方を対象に実施した別のWebアンケート調査によれば、医療用医薬品について調べる方法としては、当然ながら、「医師に聞く」、「薬剤師に聞く」が多いのですが、「インターネットで調べる」との回答が多くありました。スマートフォンの普及率が8割を超えたとされている現在、ネット検索が身近なものとなり、医療用医薬品についてもネット検索で情報を探す人が急激に増えていることが窺えます（図8）。「くすりのしおり」のアクセス数が増加しているのも、スマートフォンの普及が影響しているものと考えています。

「くすりのしおり」サイトは月平均で数百万人の方がアクセスしていると推定されています。協議会が実施した簡単なWebアンケート調査によれば、「くすりのしおり」を実際に見に来ている方の多くは一般の方であり、その95%は、実際に医療機関で医薬品の処方を受けた患者さん又はそのご家族であることが分かっています。



くすりのしおり
サイトの二次元
コード



くすり教育サイト
の二次元コード

5. さらなる患者向け情報の提供—ミル シルプロジェクト—

どのような医薬品にも一定の割合で副作用が発現しますので、製薬企業では、どのような副作用が発現するのか、どのような人に発現しやすいのか、初期症状はどのような症状なのか、治療はどう

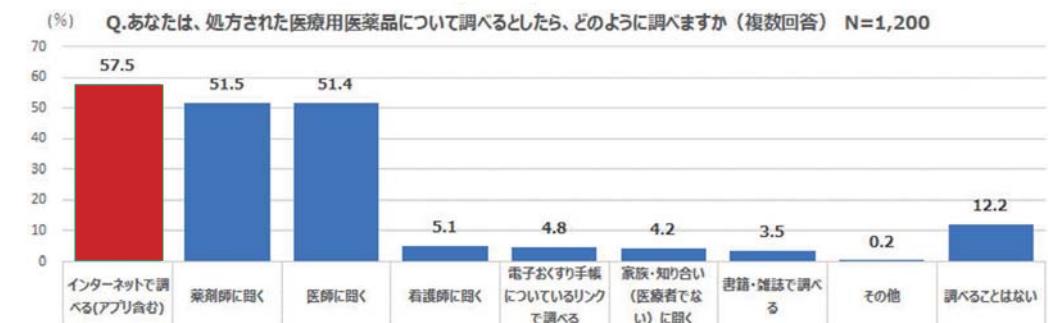


図8 処方された医療用医薬品の調べ方

うすればいいのか、などについて情報を集め、評価し、医療関係者に情報提供しています。医療関係者はそのような情報をもとに、患者さんに対しても必要な服薬指導を行っています。

4月（予定）の公開後に製薬企業が順次関連する情報の資料を掲載していくことになっています。医薬品の副作用の初期症状を早く見つけて適切な対応をとることが重篤な副作用については特に重要です。初期症状を患者さん自身が「何か変だな」「いつもと違うな」と気付けること、副作用の「第一発見者」になることが最も早い発見にながります。重篤な副作用の発現はまれなことが多く、医療関係者が気づきにくいものもあります。自分又はご家族に処方された医薬品について、副作用の初期症状としてどのような症状があるのかを知っておくことは自分やご家族の命を守ることになります。ご自身、ご家族の命を守るために、新サイト（4月公開予定）をより多くに方に活用していただきたいと思います。



図9 くすりのしおりミルシリサイトのイメージ

ライオンズクラブの薬物乱用防止教室活動 中学校における一時間授業（50分間）の実践

ライオンズクラブ国際協会333A地区
薬物乱用防止教室アドバイザー 八子昇道

新潟県におけるライオンズクラブの薬物乱用防止教室の活動状況を紹介させていただきます。新潟県内の小・中学校と高校で47校の実績があります。しかし、まだまだ県内の学校関係者の間で、ライオンズクラブが薬物乱用防止教室を開催していると言う認知度が低く、より一層の理解を得るために積極的にアプローチして行かなければならぬ所です。そこで、キャビネットでは左図のようなチラシを作成し、広告しております。



ライオンズクラブの薬物乱用防止教室の特色として、『1 認定講師の派遣 2 人生の先輩として薬物乱用の害を教え、ともに「人生をどう生きるか」という事を身近に感じ、興味深いものとなる。3 地域のライオンズクラブメンバーが行なう事により、子供と地域社会との距離が縮まり、全体で子供を守る体制ができる。4 ライオンズクラブの実施する薬物乱用防止教室は一切の費用がかかりません。』と語っています。



このチラシについては、今年度開催の薬物乱用防止教育認定講師養成講座の受講者に対して教育関係者に働きかけるツールとして活用してもらい、一校でも多くの学校での開催が出来るよう案内しております。また、新型コロナウイルス感染防止のためにZOOMを使用して中学校の授業を実施された柏崎ライオンズクラブの動画を333AキャビネットHPに掲載し、各クラブに見学を呼び掛けています。読者のみなさまもこの機会に是非ご覧ください。検索用語を333A。

さて、今回は毎年20校以上の学校で薬物乱用防止教室を開催されています柏崎ライオンズクラブの具体的な取り組みを紹介させていただきます。柏崎ライオンズクラブは二〇〇四年から薬物乱用防止教室を実施しており、今年度で18年目となります。最初は中学校一校から始まり講師に薬剤師を依頼して実施しておりましたが、講師養成講座の受講を機にクラブメンバーによる教室を開催することとなりました。次第に開催校も増えて現在は柏崎市内のほとんどの小・中学校と高校一校の薬物乱用防止教室を実施し、受講者数も累計で一二六二七人となっております。

それでは、パワーポイントによる柏崎ライオンズクラブの薬物乱用防止教室（中学生 ロープレ用）を紹介します。

このチラシについては、今年度開催の薬物乱用防止教育認定講師養成講座の受講者に対して教育関係者に働きかけるツールとして活用してもらい、一校でも多くの学校での開催が出来るよう案内しております。また、新型コロナウイルス感染防止のためにZOOMを使用して中学校の授業を実施された柏崎ライオンズクラブの動画を333AキャビネットHPに掲載し、各クラブに見学を呼び掛けている。読者のみなさまもこの機会に是非ご覧ください。検索用語を333A。

さて、今回は毎年20校以上の学校で薬物乱用防止教室を開催されています柏崎ライオンズクラブの具体的な取り組みを紹介させていただきます。柏崎ライオンズクラブは二〇〇四年から薬物乱用防止教室を実施しており、今年度で18年目となります。最初は中学校一校から始まり講師に薬剤師を依頼して実施しておりましたが、講師養成講座の受講を機にクラブメンバーによる教室を開催することとなりました。次第に開催校も増えて現在は柏崎市内のほとんどの小・中学校と高校一校の薬物乱用防止教室を実施し、受講者数も累計で一二六二七人となっております。

それでは、パワーポイントによる柏崎ライオンズクラブの薬物乱用防止教室（中学生 ロープレ用）を紹介します。

スライド③



③覚せい剤・大麻・
MDMA・危険ドラッグ・合法ハーブについての説明

③覚せい剤・大麻・
MDMA・危険ドラッグ・合法ハーブについての説明

受講してもらう。

かかって来る戻りがあることを強く感じて、

スライド②



②DVD 皇學館大学TV第35回青少年薬物乱用防止ドラマ

作成の記録（身近に迫る薬物の戻り（使用許諾済）12分33秒に編集。この動画を観て先ずは他人事ではなく、自分に降りかかる

スライド①



①挨拶「今日は皆さんの大切な命を守るためにやって来ました～授業のねらいは

②もし誘われたらどう断るのか。勉強します。」

①正しい知識を習得

たゞ授業のねらいは

②もし誘われたらどう断るのか。勉強します。」

スライド⑥



く。
Sで大麻の売買・柏崎市内の高校生も逮捕（市内の高校生驚き、危機感を抱く）

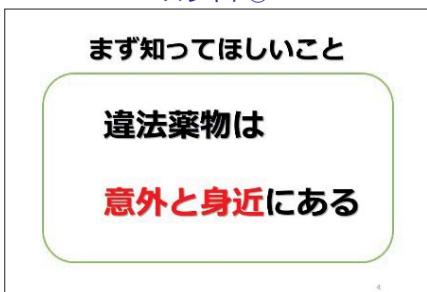
⑥実際のニュース新聞記事（消えるSN）

スライド⑤



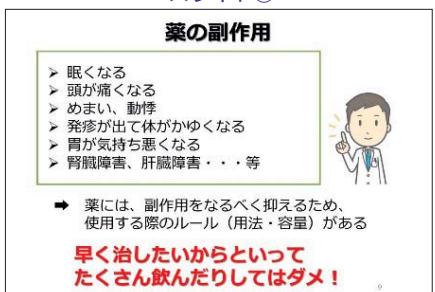
⑤新潟県の薬物事犯の検挙状況の説明
大麻事犯の約60%は10代～20歳代で検挙者は一・五倍押収量は八倍 検挙された人は水山の一角で水面下には多く潜んでいます。

スライド④



④まず知つて居ほしい事は、違法薬物は都会だけの問題ではなくて身近に新潟県内、柏崎においてもあります。

スライド⑨

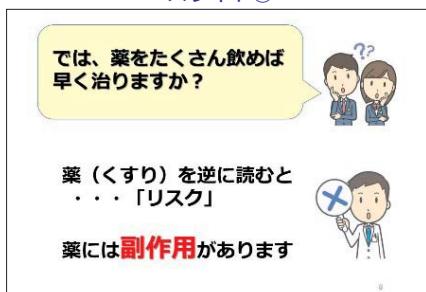


ダメです。

⑨薬の副作用の説明

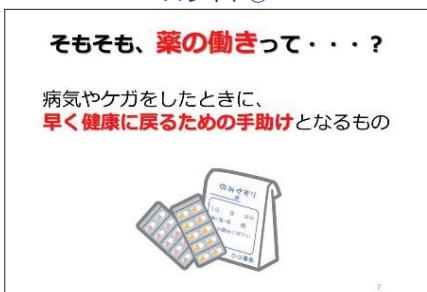
①～⑥使用する際のルール（用法・用量）を守る、早く治した

スライド⑧



⑧では、たくさん飲めば早く治りますでしょうか？ 例えば「食後に一錠」とあるものを二錠以上飲むとすると、薬を逆に読むと「リスク」。薬には副作用があります。

スライド⑦



⑦そもそも薬って何なんでしょうか？ 病気を治す為に作られたもので、お医者さんや薬剤師さんが出してくれるものであります。

スライド⑫

未成年の飲酒による悪い影響

- ① 脳萎縮、認知症の早期化
- ② アルコール依存症になりやすい（成人比で1.5倍以上とも）
- ③ 急性アルコール中毒の発症
- ④ 肝臓などの臓器障害の発症



スライド⑪

エナジードリンク スマートドラッグ
(頭の良くなる薬)



元気の前借りのようなもの

- 使いすぎると後で大きな反動・後遺症
視覚、聴覚異常、睡眠障害、頭痛
過剰摂取による死亡例も

(頭の良くなる薬)
やエナジードリンクは、元気の前借りのようなもので飲み過ぎると後で大きな反動・後遺症があります。（身近で、何気なく使用しているものの過剰摂取の危険性をアピールする）

スライド⑩

特に若い人は要注意！！

人間の脳は、20歳頃まで成長
(皆さんは今、成長途中のとても大切な時期)

↓
薬の過剰使用、違法薬物の使用

↓
脳・身体の成長に、とても悪い影響

⑩ 人間の脳は20歳頃まで成長しています。薬の過剰摂取や違法薬物の使用はとても悪い影響を及ぼします。

- ① 脳萎縮、認知症の早期化
 - ② アルコール依存症になりやすい（成人比で1.5倍以上とも）
 - ③ 急性アルコール中毒の発症
 - ④ 肝臓などの臓器障害の発症
- ⑫ 未成年者の飲酒による悪い影響について①～④の説明

スライド⑯

違法薬物はもっと危険！

覚せい剤



大麻



MDMA



危険ドラッグ
合法ハーブ



スライド⑭

**電子タバコなら
健康に影響がない？？**



- いいえ
健康に悪い影響があります
- 【電子タバコに含まれるニコチンの害】
- 血管収縮、血圧上昇、動脈硬化
 - 脳梗塞、心筋梗塞、大動脈解離など

スライド⑯

未成年のタバコによる悪い影響

① 身体や脳の成長が止まる

② 運動能力の極端な低下

③ 気管支炎、肺炎の発症リスクが大幅増加

④ ガンの発症リスク
(女性の肺がん発症率8倍)



NO SMOKING

る。
危險」とうつたえ
て。
スライドを表示し
て。
⑯もう一度、最初の

⑯電子タバコなら
健康に影響がないでしょ
うか？ニコチンの
害について説明
大動脈解離
・脳梗塞・心筋梗塞・
昇・動脈硬化
・血管収縮・血圧上
昇・動脈硬化

⑯未成年者のタバコ
による悪い影響につ
いて①～④の説明
①身体や脳の衰退
②運動能力の低下
③気管支炎・肺炎
④ガンの発症リスク
が大幅増加

スライド⑯

『違法薬物の断り方』

(動画② 約6分間)

DVD

スライド⑯

皆さんに忍び寄る違法薬物



スライド⑯

『薬物乱用はダメ！ゼッタイ』

(動画① 約11分間)

DVD

⑯未成年者のタバコ
による悪い影響につ
いて①～④の説明

⑯DVD 麻薬・覚
せい剤乱用防止セン
ター提供 (10分15秒
に編集。)
「これからもっと詳
しく薬物乱用防止に
ついて動画で学びま
しょう」

「違法薬物はもっと
危険」とうつたえ
て。
スライドを表示し
て。
⑯もう一度、最初の
トがなんと53%もあ
るんですよ。そんな
に身近な人から誘わ
れたら？皆さんは
断わることが出来ま
すか？

⑯皆さんに忍び寄る
違法薬物はどう
いうなルートで來
るのでしょうか？
「①暴力団②密売人
③友人・恋人」どれ
でしようか？表を
見てみましょう。友
人や恋人からのル
ートがなんと53%もあ
るんですよ。そんな
に身近な人から誘わ
れたら？皆さんは
断わることが出来ま
すか？

⑯DVD 京都外国
語大学「違法薬物の
断り方」(使用許諾

⑯DVD 麻薬・覚
せい剤乱用防止セン
ター提供 (10分15秒
に編集。)
「これからもっと詳
しく薬物乱用防止に
ついて動画で学びま
しょう」

スライド⑪

皆さん
の考え方
を
発表しま
しょう

21

スライド⑫

さあ、
君ならどう答える？？
グループで検討して
みましょう

20

スライド⑬

ロールプレイング
もし実際に誘わされたら、
どうやって断ればいいのか
皆で考えてみよう！！

18

(済) 5分19秒に編集。
 「最初に学生が作成した断り方の動画を観て、その後に各グループに分かれて検討して発表してもらいます。動画の中の心の声に注目しながら観てください。」

⑯ ⑰ ⑲ それでは、もし実際に誘わされたら、どうやって断ればいいのか皆で考えて見ましょう。

（予め先生にグループ分けと役割分担、司会・書記・発表を決めてもらっている）

時間や雰囲気で順合いを見て、発表してもらう。終わったら拍手。（各々のグループの所に行つて様子を見て、進度を調整する。また、発表するグループを考えおく。）

スライド⑭

もし一瞬でも迷ったときに
思い浮かべてください

- ① 家族のこと
- ② 友達のこと
- ③ 自分の将来の夢

たった1回の薬物乱用で
たった1回の人生を
台無しにしないで！！

24

スライド⑮

うまく断れないときは・・・
用事があるから
帰ります！！

とにかく立ち去る！！

23

スライド⑯

断り方

1. 一度でも使ったら、やめられなくなるよ
→ 依存性
2. 友達や家族に迷惑をかけたくないよ
→ 違法薬物の使用は犯罪
3. 自分の人生が台無しになっちゃうよ
→ 犯罪歴、健康被害
4. 薬物だけは絶対ダメだって教わったよ
→ 「とにかく嫌だ！」という意思表示

22

⑰ 断り方の例として、①～④を説明する。
 ① やめられない
 ② 迷惑をかける
 ③ 台無しになる
 ④ 絶対にダメ!!

⑯ ⑰ ⑲ ⑳ 上手く断れない時は「用事があるから帰ります」。誘われている場所にいるから誘われ続ける。誘われない為には「とにかく立ち去る」これが一番大事です。そして、もう一つ大切な事は、第六感を働かせて近づかない事です。

スライド⑰



27

スライド⑱

最後にみんなで

薬物乱用は…ダメ！ゼッタイ！
薬物乱用は…ダメ！ゼッタイ！
薬物乱用は…ダメ！ゼッタイ！

26

スライド⑲

ライオンズクラブからのお願い

皆さんは、薬物の誘惑に負うことなく、大きな夢や希望を持って、健全で、健康な人生を歩んでください。
 それが私たちライオンズクラブのお願いです

25

⑰ ライオンズクラブからのお願い「皆さんは薬物の誘惑に負けないことなく、大きな夢や希望を持つて、健全で、健康な人生を歩んでください。それが私たちライオンズクラブのお願いです。」

⑯ ⑰ ⑲ ⑳ 最後にみんなで「薬物乱用は…ダメ！ゼッタイ！」を三唱。（その場に起立し、講師の「薬物乱用は…」の呼びかけに対しても生徒は右手を広げて前に出し「ダメ」右手を握り胸にあて「絶対」）

⑰ ⑲ 先生にバトンタッチして質問を受ける。生徒の代表が授業の感想を発表して終了。

「授業の終わった後に廊下にいる生徒に『薬物乱用はダメ』と聞くと間髪入れずに『ダメ！ ゼッタイ！』と返してくれる。思わずお互にニッコリ。」

学校とのスケジュール調整について

柏崎市内の小学校（五、六年生）中学校（全学年）の保健体育の一时限を利用して教室を開催する為に、四月に教育委員会学校教育課が窓口になり、各小中学校校長あてに連絡して、第一、第二希望として案内の取りまとめをして頂き、それをもとにライオンズクラブの担当委員



と各学校の担当先生と調整して実行しています。
打ち合わせ時に授業の教材（無償配布）「薬物乱用防止読本」と柏崎ライオンズクラブ活動パンフレットを持参して、先に児童、生徒に配布してもらいます。授業の中では使用しませんが、復習や家族との会話に使ってもらいます。その教材は新潟県福祉健康部、柏崎市保健所からご協力を願いし、不足分はクラブで購入しています。

	[校長名・音響機器担当者]
薬物乱用防止教室 運営説明シート	
相模ライオンズクラブ 事務局TEL 0257-24-3575 (平日 9時～15時) 事務局メール lions@muuc.biglobe.ne.jp	
<p>担当委員会名: _____ <small>(田島委員会連絡TEL) - - - - -)</small></p>	
<p>■ 当日のタイムスケジュール</p>	
<p>1. 開催時間の3分前 柏崎ライオンズクラブメンバー登場 挨拶後、すぐに用意用具をセッティングを開始します</p>	
<p>2. 薬物乱用防止教室・・・パワーポイントを使用したスライド講義 + 動画上映</p>	
<p>■ 教室開催後の運営について</p>	
<p>【保護される児童・生徒の皆様】・・・当日は次のとおり用意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 柏崎ライオンズクラブ パンフレット ② 事務局で用意したテキスト (当日は使用しない可操作性もありますが、念の為お持ちください) ③ 記念品 	
<p>【会場設営】・・・次のとおりお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① マイク1本 (小規模開催の場合は不要) ② プロジェクターのスクリーン (電子黒板使用の場合は不要) ③ プロジェクターケーブル1台 (電子黒板使用の場合は不要) ④ 調理用の道具、調理器具(野菜や肉など)などを用意 ⑤ 会場内に椅子と椅子用のイス _____名の参考を定めて下さい) 	
<p>■ 感想文ご提出のお願い</p>	
<p>枚数制限なし、形式など提出ご協力をお願いします。</p>	
<p>アンケート書類のwordファイルをご希望の場合は、その旨をクラブ事務局までメールください。</p>	
<p>(事務局メール lions@muuc.biglobe.ne.jp)</p>	

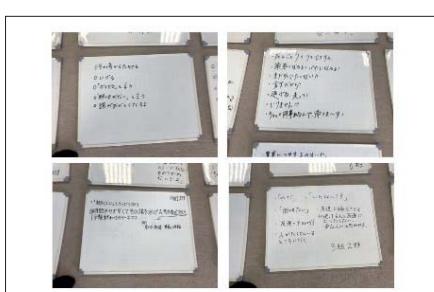
ロールプレイングについて

「自分」は、最近、部活を引退し、時間を持て余すようになった中学3年生。
友人Bと一緒に帰宅途中、久しぶりに友人Aとバッタリ



設定を、自分は部活を引退し時間を持て余すようになった。中学三年生。友人Aと一緒に緒の帰宅中に先輩とバッタリ会う。というようにして、クラブメンバーで寸

は年代も近い大学生の動画を活用することにより臨場感をだして、生徒にもっと自分のこととして感じてもらうようになっています。残念ながら昨年度から二年間新型コロナウイルス感染防止のためにロールプレイングの授業は中止となつております。



薬物乱用防止教室質疑応答について

授業の理解をより深めるために児童・生徒から質問を受けますが、講師がスマートに応えられるようにQ&Aノートを作成しています。例えばQ「カナダでは大麻が合法化されている



薬物乱用防止教室感想文について

中学生の感想文の紹介をさせていただきます。

○薬はその人の性格まで変えてしまうと考える
とても怖い。身近にあると思うともっと怖い。
もし、誘われても絶対に断る!と言うことを心
に決めておきたい。勇気を出して自分の周りの



<p>薬物乱用防止教室 Q&Aノート 2015年1月5日付</p> <p>Q. 大麻とは? A. 大麻は大麻草の葉や花の部分で、学名は「カンナビス」。 主に日本では「大麻」と表記されることが多い。(英語では「Marijuana」)。 大麻には精神活性成分THC(テトラヒドロカンナビノール)が含まれています。 THCは精神活性成分であり、大麻の主要な作用成分です。 THCは大麻の主要な作用成分で、大麻の主要な作用成分です。</p> <p>Q. 大麻草が自家することはあるのか? A. 大麻草は日本で法律で規制されています。 日本でも大麻草が自家用として栽培されています。</p> <p>Q. カンabinとは? A. よく「大麻草」や「大麻」などと表記される大麻の学名です。 大麻の学名は「カンabin」、英語では「Marijuana」と表記されます。 大麻の学名は「カンabin」、英語では「Marijuana」と表記されます。</p>
--

人達、自分の将来について考え、踏みとどまるようにしてみたい。あやしいと思ったら関わらないようにしていきたい。1回だけでも薬物乱用になる。後戻りができないということを忘れないようにしたい。自分の脳、身体、精神が壊れてしまうということを忘れず、周りにも伝えていきたい。(K中学校)

薬物乱用防止教室の授業時間だけではなく、その後に感想文を書くことで復習となり防止知識を身に付けることになると思います。

児童や生徒の皆さん純粋な感想文をまとめながら思い浮かぶのは、この子らが本当に健全に育つて行って欲しいと言う思いと講師として日本の教育の一端を背負っているという強烈な使命感のようなものを感じます。そして、この感想文は今まで文集として印刷しておりましたが、費用がかかり過ぎる為CDRに変更して費用削減とページ数を増すことが出来ました。

そして、CDRの配布先として開催校の他に柏崎市教育委員会学校教育課、柏崎保健所、新潟地域振興局健康福祉部、新潟県教育厅保健体育課、新潟県警察本部、麻薬・覚せい剤乱用防止センターに送っております。ボトムアップ型ではありますが、現場の声・状況をまとめて、柏崎市の保健所と教育委員会と警察、また新潟県の省庁にも直接配信・連携する事で、成長期の若者の未来を守り、地域社会の健全性を高め

と聞きますが、何故か?」A「」国が大麻の流通をコントロールして、マフィアの資金源を断つという目的のため」など。

ることにつながる事と考えています。地域社会に密接に関係しているライオンズクラブならではの奉仕活動であると思っています。

今後の課題

①学校教育課の担当が異動になった時に必ず連絡をもらい、打ち合わせる事が必要です。学校への対応が遅れてスケジュール調整が難しくなります。ライオンズクラブの担当委員会メンバーは大幅な改選はせずに、正・副委員長は任期継続が大切です。

②講師のスキルアップ（伝達力・教材・資料

などの工夫）と普遍化（誰でも簡単にできる・分かり易い表現と映像）授業。県教育委員会主催の指導者研修会などに参加して新しい情報を収集し反映させる。ライオンズクラブ内での講習（小・中学校別に発達特性を踏まえて）の実施。

施。

③中学校の授業にライオンズクエストプログ ラム（柏崎市立小学校・中学校の先生は必修の初任者研修となっている）の要素を取り入れてライフスキル教育を子供たちに届ける。

薬物乱用防止教室を開催することは、単に薬物乱用を防ぐためだけでは無く、一人の人間の生涯に通じる様々な健康課題を解決させる力を強化することになります。また、ライオンズク

ラブのおじさん、おばさんが奉仕活動として関わる事で、子供たちと家族、友人、学校、地域社会との繋がりもより深くなっています。そして、何よりも講師たるライオンズマンの成長なくして子供たちの未来を築いて行くことはできないと授業の後に痛感しております。『日々精進』。

引用・参考文献

「薬物乱用防止教室中学校」（柏崎ライオンズクラブ）

「薬物乱用防止教室の手引き」（公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター、一般社団法人日本ライオンズ）

「薬物乱用防止読本」（公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター）

「薬物乱用防止教育指導者研修会」（新潟県教育委員会）

京都外国语大学「違法薬物の断り方」動画。

皇學館大学TV第35回青少年薬物乱用防止ドラマ作成の記録（身近に迫る薬物の罠）動画。

DVD薬物乱用防止教室（公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター）





治すなら、コンドロイチン配合の医薬品。



日本で最大量配合。^{*}

[第3類医薬品]

コンドロイチンZS錠[®]

【効能・効果】

関節痛、腰痛、五十肩など



ゼリア新薬工業株式会社

お客様相談室 03-3661-2080 (9:00~17:50 土・日・祝日を除く)
薬局・ドラッグストアでお買い求めください。

* 日本のOTC医薬品の中で唯一コンドロイチン
硫酸エチルNaを1,560mg配合(1日量)

詳しくはWEBで <http://zs1560.jp>



KINKAN



1日数回、患部に適量を塗布してください。 [第2類医薬品]

これからもあなたのとなりにキンカン♪

株式会社 金冠堂 株式会社 キンカン

東京都世田谷区若林1丁目18番10号 みかみビル5階東側 TEL 03-3421-6171(代表) [キンカン]

いまこそ思い起さなければならないこと ～薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」について～

(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター理事長

藤野彰

厚生労働省による「大麻等の薬物対策のあり方検討会」(2021年1-6月)の過程で明らかになつたいくつかの事がらがあります。そのひとつが、当センターが長年にわたって主導してきました薬物乱用防止活動の原点、さらにはその本来の性格が、もはや必ずしも一般には充分に知られていないのではないか、ということです。

一昨年夏、理事長に選出されてのち発行された当財団広報誌の巻頭隨想には、『岐路に立つとき』と題し、記憶しておかなければならないことがあるとして、次の旨のことを特記いたしました。

かつて、薬物乱用防止の標語は、不幸にして乱用を始めてしまった人たちへ向けてのものばかりであったところ、初めて、薬物に手を染めていない人々を対象にする標語が創られました。それこそが“薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」”だったのです。

お母さんが子どもに、「ダメよ。そんなことをしては」と言い、子どもがそれに応えるといった、愛情のこもった親子の会話のように、と創始者たちが考えた記録が残っています。「覚せい剤やめますか。それとも人間やめますか。」といった昔の標語の延長ではなく、全く新しい発想からでした。

「ダメ。ゼッタイ。」という標語は、さまざまな記録に残っているとおり、依存者に対しての呼びかけではなく、始めていない人たちへの呼びかけであったという事実は、今ここで改めて記憶していただきたいと思います。だからこそ、同時に「愛する自分を大切に」という双子の標語も生まれたわけですから。

また、今から半世紀前、国際社会は条約を改正してまで、薬物乱用を“防止”することが最も重要である、との意思を表明しました。「麻薬に関する単一条約」は1972年の議定書により改正されましたが、当初、関連条項（第38条）のタイトルは「中毒者に対する措置」であったところ、「濫用に対する措置」と変更されました。まず「濫用の防止に特別の考慮」を払うべきだと規定されたのです。

その一次予防に加え、早期発見、治療、教育、アフターケア、更生から社会復帰に至るまで、各国での創意工夫が必要だとしたのです。その順番を間違えてはいけないということです。それぞれの段階が不可欠かつ重要であるということです。

まさに我が国において、当センターが主導して展開してきた乱用防止活動の原点が、ここにあります。それはしかし、標語を言いっぱなしで済むことではありません。特に若者たちが自分自身の頭で考えられるようにするにはどうすべきかを、模索し続ける他はありません。時と場合によって、「解」はひとつではありません。

だからこそ、例えばライオンズクラブ国際協会の方々が長年にわたり、それぞれの地域で当センターと共に地道な努力を重ねて来られたことの意義があります。そのために、事実とデータ、そして考えるきっかけを提供しようとするのが、新たに発行いたしました冊子「あなたに知ってもらいたい薬物のはなし」の目的でもあります。

当センターの原点を今一度思い起し、新たな時代に即した道を探り、国内外の諸機関と密接に連携して先へ進まなければなりません。志ある皆様方のご支援とご協力を切にお願いする次第です。

令和3年度 麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動地区大会

「麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動」は、薬物の危険性・有害性をより多くの国民に知っていただき、一人ひとりが薬物乱用に対する意識を高めることにより、薬物乱用の根絶を図ることを目的として、毎年10月、11月の2か月間にわたり全国的に展開されています。

令和3年度は新型コロナウィルスの影響から、全国6地区のうち4地区で開催中止となりましたが、関東信越地区及び近畿地区の2地区におきましては、感染症拡大防止の観点から無観客開催（後日オンライン配信）として実施されました。

近畿地区（兵庫大会）の開催状況は次のとおりです。

薬物乱用防止運動兵庫大会の開催概要

1 開催年月日

令和3年11月23日



大会宣言

2 開催場所

西宮市フレンテホール（兵庫県西宮市池田町11-1）

3 主催

厚生労働省、兵庫県、兵庫県薬物乱用防止指導員協議会、
西宮地区薬物乱用防止指導員協議会

4 後援

西宮市、(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター、
兵庫県薬物乱用対策推進会議、兵庫県警察本部、
兵庫県教育委員会、西宮市教育委員会、神戸税関、
神戸海上保安部、兵庫県学校保健会、(一社)兵庫
県医師会、(一社)兵庫県薬剤師会、(一社)兵庫
県医薬品登録販売者協会、兵庫県医薬品配置協議会、
(公財)兵庫県青少年本部、(公社)兵庫県防犯協会
連合会、兵庫県遊技業協同組合、兵庫県保護司会
連合会、兵庫県更生保護女性連盟、ひょうご地域
安全まちづくり推進協議会、兵庫県麻薬協会、ラ
イオンズクラブ国際協会335-A地区、国際ロータリー
第2680地区、関西学院大学、武庫川女子大學



厚生労働省あいさつ



兵庫県あいさつ

5 参加人員

220名（内 YouTube閲覧者200名）



西宮市長祝辞

6 活動内容

「麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動」（10月1日から11月30日まで）事業の一環として、広く県民に薬物乱用の危険性や害等を訴え、規範意識の向上と薬物乱用未然防止の社会づくりを推進することを目的として開催した。

なお、本大会は新型コロナウィルス感染症の拡大防止の観点から、一般参加者を感謝状受賞者のみとし、大会の様子をYouTubeでライブ配信を行った。

第一部は、関西学院大学生が開会を宣言し、薬物乱用防止活動功労者の功績をたたえる表彰式を行い、来賓からの祝辞をいただいた。

第二部の特別講演では、公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター理事長の藤野彰氏により、「国際的視点から見た日本の薬物問題について」と題し、海外の薬物状況や我が国の薬物乱用に関する現況について、講演いただいた。



特別講演



閉会あいさつ

薬物乱用防止キャラバンカー 30年の軌跡 ～フィナーレに向けて、今振り返る～

平成4年度（1992年度）に誕生した薬物乱用防止キャラバンカー（以下「キャラバンカー」）は30年の長きにわたり主に小・中学校を中心として薬物乱用の未然防止のための啓発活動を進めてきました。

これまでの30年間でキャラバンカー見学者は延べ約313万人に達します。

間もなくキャラバンカーはその役割を終えることとなります、これまでの啓発活動の軌跡を写真を中心に取りまとめましたのでご紹介いたします。

» 初代キャラバンカー（平成4年度（1992年度）～ 平成9年度（1997年度））



» 二代目キャラバンカー（平成10年度（1998年度）～平成25年度（2013年度））

二代目キャラバンカーは、薬物乱用が心や身体に与える危害の解説や写真のパネル、乱用されている薬物の標本、薬物乱用の危害を解説する映像、薬物乱用に関してクイズ形式で学習できるパソコンシステムなどが搭載され、子供から大人まで、薬物乱用の恐ろしさを体感的に学習できるようになっています。



→ 2001年4月時点のキャラバンカー配置先



» 三代目キャラバンカー（平成26年度（2014年度）～ 現在）

三代目キャラバンカーは、初代及び二代目のバス改造型キャラバンカーと異なり、トラック改造型として製作され平成26年度（2014年度）より稼働しています。

キャラバンカー内部に搭載している啓発機材は、最新機器にリニューアルされているほか、見学スペースを広く確保しております。

【キャラバンカーの内部】



学校啓発

講演及び啓発DVD視聴



キャラバンカー見学体験



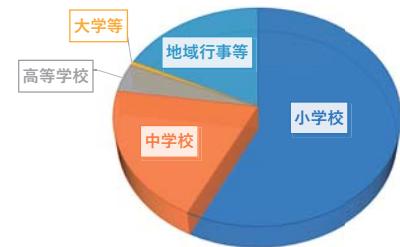
見学記念撮影・総合まとめ



一般啓発（第23回世界スカウトジャンボリー：2015年8月山口市阿知須きらら浜）



【参考】キャラバンカー啓発先の割合



薬物乱用防止キャラバンカー啓発実績 (1992年度～2021年度)

年度	啓発件数	小学校	中学校	高等学校	大学等	地域行事等	見学者数	稼働台数
平成4年度（1992年）	111	…	…	…	…	…	15,232	1台
平成5年度（1993年）	99	…	…	…	…	…	22,406	
平成6年度（1994年）	59	…	…	…	…	…	21,924	
平成7年度（1995年）	88	…	…	…	…	…	47,970	
平成8年度（1996年）	130	12	59	16	2	41	50,732	
平成9年度（1997年）	203	27	65	22	4	85	38,251	
平成10年度（1998年）	613	151	142	68	15	237	137,929	4台
平成11年度（1999年）	1,018	248	241	123	12	394	202,861	
平成12年度（2000年）	1,197	404	299	89	8	397	235,349	
平成13年度（2001年）	1,273	506	295	99	2	371	220,832	
平成14年度（2002年）	1,378	696	284	61	2	335	236,653	8台
平成15年度（2003年）	1,380	725	326	67	6	256	211,242	
平成16年度（2004年）	1,342	791	312	44	0	195	174,313	
平成17年度（2005年）	1,380	787	299	52	0	242	175,461	
平成18年度（2006年）	1,302	831	258	36	0	177	136,661	
平成19年度（2007年）	1,292	864	273	28	6	121	166,186	
平成20年度（2008年）	1,271	863	248	29	3	128	171,726	
平成21年度（2009年）	1,350	915	251	28	16	140	195,427	6台
平成22年度（2010年）	1,352	932	236	41	11	132	174,611	
平成23年度（2011年）	1,276	930	187	19	15	125	145,681	
平成24年度（2012年）	1,200	884	179	24	17	96	124,132	
平成25年度（2013年）	1,094	819	147	21	7	100	128,811	
平成26年度（2014年）	127	100	8	1	0	18	14,885	1台
平成27年度（2015年）	124	98	9	1	2	14	15,500	
平成28年度（2016年）	127	97	2	3	0	25	12,362	
平成29年度（2017年）	119	66	17	0	0	36	13,842	
平成30年度（2018年）	144	93	12	4	0	35	17,851	
令和元年度（2019年）	119	69	15	1	0	34	11,253	
令和2年度（2020年）	64	49	8	3	0	4	5,262	
令和3年度（2021年）	90	65	10	3	0	12	7,915	
合計	件数	21,322	12,022	4,182	883	128	3,750	3,133,260
	割合	100.0	57.3	19.9	4.2	0.6	17.9	

※啓発先の割合は1996年度～2021年度の件数合計（20,965）を分母として計算している。

2021年度「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金状況

(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター

都道府県	実行委員会		ライオンズクラブ		ロータリークラブ		募金額合計	
	件数	募金額	件数	募金額	件数	募金額	件数	募金額
1 北海道	52	319,929	2	24,963	0	0	54	344,892
2 青森	16	314,131	3	32,523	0	0	19	346,654
3 岩手	56	88,170	1	3,000	0	0	57	91,170
4 宮城	31	112,099	1	11,176	1	16,200	33	139,475
5 秋田	116	307,911	4	83,145	0	0	120	391,056
6 山形	48	499,613	2	13,508	0	0	50	513,121
7 福島	92	1,816,985	0	0	0	0	92	1,816,985
8 茨城	246	775,549	5	74,067	2	75,707	253	925,323
9 栃木	7	61,644	0	0	0	0	7	61,644
10 群馬	15	43,123	0	0	0	0	15	43,123
11 埼玉	266	1,703,584	0	0	0	0	266	1,703,584
12 千葉	45	158,444	9	125,700	6	48,889	60	333,033
13 東京	194	1,495,878	0	0	0	0	194	1,495,878
14 神奈川	67	948,669	0	0	6	153,706	73	1,102,375
15 新潟	125	166,262	2	37,900	0	0	127	204,162
16 富山	1	281,679	0	0	0	0	1	281,679
17 石川	12	238,886	6	50,592	2	43,400	20	332,878
18 福井	5	431,781	1	10,519	0	0	6	442,300
19 山梨	4	273,294	0	0	0	0	4	273,294
20 長野	249	630,609	1	10,000	48	845,876	298	1,486,485
21 岐阜	140	204,159	1	8,424	0	0	141	212,583
22 静岡	51	333,856	22	248,453	1	10,000	74	592,309
23 愛知	46	143,045	0	0	0	0	46	143,045
24 三重	66	164,570	6	97,914	9	105,207	81	367,691
25 滋賀	10	30,723	3	79,069	1	41,815	14	151,607
26 京都	56	291,794	1	672	0	0	57	292,466
27 大阪	41	576,907	41	578,749	16	301,020	98	1,456,676
28 兵庫	16	215,053	0	0	0	0	16	215,053
29 奈良	10	51,201	7	454,000	0	0	17	505,201
30 和歌山	18	93,747	14	182,342	10	164,722	42	440,811
31 鳥取	19	60,926	0	0	0	0	19	60,926
32 島根	44	138,227	4	37,847	0	0	48	176,074
33 岡山	74	318,942	1	5,000	0	0	75	323,942
34 広島	58	153,485	1	939,476	3	37,195	62	1,130,156
35 山口	47	921,005	5	53,448	4	166,612	56	1,141,065
36 徳島	7	208,742	0	0	0	0	7	208,742
37 香川	15	26,441	1	10,500	0	0	16	36,941
38 愛媛	1	1,867,507	0	0	0	0	1	1,867,507
39 高知	30	143,900	12	119,200	0	0	42	263,100
40 福岡	32	174,661	11	145,817	0	0	43	320,478
41 佐賀	52	215,554	2	16,620	2	30,412	56	262,586
42 長崎	34	221,858	0	0	0	0	34	221,858
43 熊本	23	77,024	0	0	0	0	23	77,024
44 大分	58	825,025	3	11,084	0	0	61	836,109
45 宮崎	59	153,461	0	0	0	0	59	153,461
46 鹿児島	42	153,166	0	0	0	0	42	153,166
47 沖縄	196	728,262	3	17,300	0	0	199	745,562
合計	2,892	19,161,481	175	3,483,008	111	2,040,761	3,178	24,685,250

	振込件数	募 金 額
実行委員会	2,892	19,161,481
ライオンズ	175	3,483,008
ロータリー	111	2,040,761
官公庁／団体	58	366,283
企業／その他	248	1,170,511
総計	3,484	26,222,044

2021年度「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金は12月15日で締め切りました。

12月16日からの分は、2022年度の募金に計上されます。

尚、ライオンズクラブ、ロータリークラブの募金が実行委員会に含まれている場合もあります。

ヘルスケア イノベーションを 推進しています。

ヘルスケア イノベーション。

それは健康を第一に考え、より美しく、より楽しく、
充実した日々を過ごしたいと願う人々への
佐藤製薬からの提案であり、企業理念です。



佐藤製薬株式会社

www.sato-seiyaku.co.jp

〒107-0051 東京都港区元赤坂1・5・27

介護付有料老人ホームと在宅福祉のご案内です。



●シルバービレッジ八王子



八王子に隣接
救急指定右田病院



日野・日野東館に隣接
康明会
ホームケアクリニック

直下型地震にも対応
安心の免震構造
●シルバービレッジ日野東館



在宅福祉部
●居宅介護支援事業所
シルバービレッジいちょうの里
●訪問介護事業所
シルバービレッジいちょうの杜
●セカンドライフ応援俱楽部
シルバービレッジいちょうの実

多摩モノレール
甲州街道駅徒歩1分!!
●シルバービレッジ日野



八王子市宮下町
●シルバービレッジ八王子西



SV シルバービレッジ
「ゆったりと安心の毎日」をお届けしています。

パンフレットのご請求は
0120-19-0432

ホームページ シルバービレッジ 検索

株式会社シルバービレッジ 代表取締役会長 石井 征二(八王子陵東LC)

令和2年中の薬物情勢について

(令和3年4月警察庁組織犯罪対策部公表資料「令和2年における組織犯罪の情勢」より抜粋)

令和2年における薬物情勢の特徴としては、以下のことが挙げられる。

- 薬物事犯検挙人員は、近年横ばいが続く中、14,079人と前年より僅かに増加した。
このうち、覚醒剤事犯検挙人員は、近年減少が続いている、令和2年においても8,471人と引き続き減少した。一方で、大麻事犯検挙人員は、20歳代以下の若年層を中心に平成26年以降増加が続き、令和2年も過去最多となった前年を大幅に上回る5,034人となった。大麻事犯検挙人員の増加が薬物事犯検挙人員全体を押し上げている。
- 覚醒剤の密輸入事犯検挙件数は73件と前年より大幅に減少した。このうち航空機利用の携帯密輸については25件と、統計を取り始めた平成8年以降で最多となった前年より顕著に減少した。
覚醒剤の密輸入押収量は418.2キログラムと依然として高水準にある一方、覚醒剤の総押収量は437.2キログラムと前年より大幅に減少し、5年ぶりに1,000キログラムを割り込んだ。
- 大麻栽培事犯の検挙人員は、近年増加傾向にあり、232人と前年より大幅に増加し、大麻草押収量（本数）も9,893本と前年より増加した。
- 危険ドラッグ事犯の検挙人員は150人と、前年に引き続き減少した。

上記のとおり、覚醒剤事犯検挙人員は、減少しているものの依然として薬物事犯全体の検挙人員の6割以上を占めていることや検挙人員に占める暴力団構成員等の割合が高いことなどから、密輸・密売事犯の検挙を通じた覚醒剤の供給網の遮断に向けた取締りを引き続き推進することとしている。また、大麻事犯検挙人員については、前年に統いて過去最多を更新しており、大麻事犯における若年層、特に少年の増加傾向に歯止めをかけるため、厳正な取締りに加えて、SNS等のインターネット上の違法情報・有害情報の排除や大麻乱用防止に係る広報啓発活動を推進することとしている。

1 薬物事犯の検挙状況

薬物事犯の検挙人員は、近年横ばいで推移している中、14,079人と前年より僅かに増加した。このうち暴力団構成員等の検挙人員は4,387人で、薬物事犯の検挙人員の31.2%を占めており、検挙人員・薬物事犯に占める割合とも減少傾向にあるが、覚醒剤事犯では、検挙人員に占める割合が42.2%と高い。

外国人の検挙人員は888人と前年より減少し、薬物事犯の検挙人員の6.3%を占めているが、MDMA等合成麻薬やコカインなどの麻薬及び向精神薬事犯では、検挙人員に占める割合が20.6%と高い。

[薬物事犯別検挙件数及び検挙人員の推移]

区分		年別	H28	H29	H30	R元	R2
覚醒剤事犯	検挙件数	15,219	14,325	14,135	12,020	12,124	
	検挙人員	10,457	10,113	9,868	8,584	8,471	
	暴力団構成員等	5,067	4,751	4,645	3,738	3,577	
	構成比率 (%)	48.5	47.0	47.1	43.5	42.2	
	外国人	605	706	632	761	480	
	構成比率 (%)	5.8	7.0	6.4	8.9	5.7	
大麻事犯	検挙件数	3,439	3,965	4,687	5,435	6,015	
	検挙人員	2,536	3,008	3,578	4,321	5,034	
	暴力団構成員等	649	742	762	780	751	
	構成比率 (%)	25.6	24.7	21.3	18.1	14.9	
	外国人	181	250	253	279	292	
	構成比率 (%)	7.1	8.3	7.1	6.5	5.8	
麻薬及び向精神薬事犯	検挙件数	784	840	862	945	1,081	
	MDMA等合成麻薬	86	107	122	178	372	
	コカイン	364	392	434	482	412	
	ヘロイン	3	19	14	13	6	
	その他	331	322	292	272	291	
	検挙人員	412	409	415	457	562	
	暴力団構成員等	65	69	50	58	59	
	構成比率 (%)	15.8	16.9	12.0	12.7	10.5	
	外国人	82	102	133	123	116	
	構成比率 (%)	19.9	24.9	32.0	26.9	20.6	

	MDMA 等合成麻薬	38	42	50	82	201
	暴力団構成員等	6	11	5	6	15
	構成比率 (%)	15.8	26.2	10.0	7.3	7.5
	外国人	7	5	18	30	62
	構成比率 (%)	18.4	11.9	36.0	36.6	30.8
	コカイン	142	177	197	205	188
	暴力団構成員等	34	38	36	47	33
	構成比率 (%)	23.9	21.5	18.3	22.9	17.6
	外国人	50	70	83	63	42
	構成比率 (%)	35.2	39.5	42.1	30.7	22.3
	ヘロイン	0	9	10	6	6
	暴力団構成員等	0	0	0	0	1
	構成比率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	外国人	0	9	6	5	5
	構成比率 (%)	0.0	100.0	60.0	83.3	83.3
	その他	232	181	158	164	167
	暴力団構成員等	25	20	9	5	10
	構成比率 (%)	10.8	11.0	5.7	3.0	6.0
	外国人	25	18	26	25	7
	構成比率 (%)	10.8	9.9	16.5	15.2	4.2
あへん事犯	検挙件数	11	12	6	4	11
	検挙人員	6	12	1	2	12
	暴力団構成員等	0	0	0	0	0
	構成比率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	外国人	0	0	0	0	0
	構成比率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	検挙件数	19,453	19,142	19,690	18,404	19,231
	検挙人員	13,411	13,542	13,862	13,364	14,079
	暴力団構成員等	5,781	5,562	5,457	4,576	4,387
	構成比率 (%)	43.1	41.1	39.4	34.2	31.2
	外国人	868	1,058	1,018	1,163	888
	構成比率 (%)	6.5	7.8	7.3	8.7	6.3

注1：本表の数値には、各薬物に係る麻薬特例法違反の検挙件数・人員の数値を含む。

注2：本表の薬物事犯は、覚醒剤事犯、大麻事犯、麻薬及び向精神薬事犯並びにあへん事犯をいい、犯罪統計による。

覚醒剤事犯の検挙人員は、薬物事犯の検挙人員の60.2%を占め、その割合は平成24年以降減少している一方で、大麻事犯の検挙人員は、薬物事犯の検挙人員の35.8%を占め、その割合は平成25年以降増加している。

〔薬物事犯別検挙人員の構成比率の推移〕

年別 区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R 2
覚醒剤事犯 (%)	86.1	86.0	84.2	83.5	81.5	78.0	74.7	71.2	64.2	60.2
大麻事犯 (%)	12.0	11.9	12.0	13.4	15.5	18.9	22.2	25.8	32.3	35.8
その他 (%)	1.9	2.1	3.8	3.1	3.0	3.1	3.1	3.0	3.4	4.1

2 主な薬物事犯の傾向、特徴

(1) 覚醒剤事犯

覚醒剤事犯の検挙人員は、第三次覚醒剤乱用期のピークである平成9年以降、長期的にみて減少傾向にあり、令和2年も8,471人と減少した。平成30年以降連続して1万人を下回っている。

また、覚醒剤事犯の検挙人員のうち、暴力団構成員等は3,577人と検挙人員の42.2%、外国人は480人と検挙人員の5.7%を占めている。

〔覚醒剤事犯検挙人員の推移〕

年別 区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R 2
覚醒剤事犯検挙人員	11,852	11,577	10,909	10,958	11,022	10,457	10,113	9,868	8,584	8,471
暴力団構成員等	6,553	6,373	6,096	6,024	5,712	5,067	4,751	4,645	3,738	3,577
構成比率 (%)	55.3	55.0	55.9	55.0	51.8	48.5	47.0	47.1	43.5	42.2

ア 年齢層別の検挙状況

令和2年の人口10万人当たりの検挙人員は、20歳未満が1.4人、20歳代が7.9人、30歳代が14.4人、40歳代が15.4人、50歳以上が5.1人であり、最も多い年齢層は40歳代、次いで30歳代となっている。

[覚醒剤事犯年齢別検挙人員の推移]

区分		年別		H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
		検挙人員	人口10万人当たりの検挙人員	10,457	10,113	9,868	8,584	8,471
覚醒剤事犯	年齢別	50歳以上	人口10万人当たりの検挙人員	2,353	2,347	2,615	2,323	2,468
		50歳以上	構成比率 (%)	5.0	4.9	5.5	4.8	5.1
		40～49歳	構成比率 (%)	22.5	23.2	26.5	27.1	29.1
		40～49歳	人口10万人当たりの検挙人員	3,592	3,587	3,352	2,885	2,844
		40～49歳	構成比率 (%)	19.7	18.9	17.7	15.4	15.4
		30～39歳	構成比率 (%)	34.4	35.5	34.0	33.6	33.6
		30～39歳	人口10万人当たりの検挙人員	3,089	2,862	2,642	2,241	2,063
		30～39歳	構成比率 (%)	20.0	18.6	17.6	15.3	14.4
		20～29歳	構成比率 (%)	29.5	28.3	26.8	26.1	24.4
		20～29歳	人口10万人当たりの検挙人員	1,287	1,226	1,163	1,038	1,000
		20～29歳	構成比率 (%)	10.2	9.8	9.3	8.3	7.9
		20歳未満	構成比率 (%)	12.3	12.1	11.8	12.1	11.8
		20歳未満	人口10万人当たりの検挙人員	136	91	96	97	96
		20歳未満	構成比率 (%)	1.9	1.3	1.4	1.4	1.4
		うち中学生	構成比率 (%)	1.3	0.9	1.0	1.1	1.1
		うち高校生	うち中学生	7	0	3	3	0
		うち高校生	うち高校生	18	8	13	10	11
		大学生		8	19	15	26	8

注1：算出に用いた人口は、各前年の総務省統計資料「10月1日現在人口推計」又は「国勢調査結果」による。

注2：20歳未満の人口10万人当たりの検挙人員は14歳から19歳までの人口を基に、50歳以上の人口10万人当たりの検挙人員は50歳から79歳までの人口を基にそれぞれ算出。

イ 再犯者率

覚醒剤事犯の再犯者率は、平成19年以降14年連続で増加しており、令和2年は69.4%となっている。

[覚醒剤事犯の再犯者率の推移]

区分		年別		H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R 元	R 2
		検挙人員	再犯者数	11,852	11,577	10,909	10,958	11,022	10,457	10,113	9,868	8,584	8,471
覚醒剤事犯	再犯者率 (%)	再犯者数	7,038	7,116	6,899	7,067	7,147	6,804	6,647	6,521	5,687	5,880	
		再犯者率 (%)	59.4	61.5	63.2	64.5	64.8	65.1	65.7	66.1	66.3	69.4	
		年齢別	50歳以上	81.5	81.3	79.8	80.2	83.1	82.3	82.4	82.6	83.1	84.9
		40～49歳	70.4	70.0	69.7	71.2	72.2	72.1	72.1	71.8	73.6	74.6	
		30～39歳	56.1	56.8	58.9	57.3	57.9	56.9	58.5	57.9	57.0	61.4	
		20～29歳	32.9	37.6	39.0	39.2	36.0	38.9	35.6	35.4	33.7	38.6	
		20歳未満	12.0	14.9	15.3	5.4	16.0	12.5	16.5	13.5	6.2	9.4	

ウ 違反態様別の検挙状況

違反態様別でみると、使用事犯が4,933人、所持事犯が2,717人、譲渡事犯が344人、談受事犯が127人、密輸入事犯が114人となっており、使用事犯及び所持事犯で検挙人員の90.3%を占めている。

エ 覚醒剤事犯の主な特徴

覚醒剤事犯の検挙人員は、薬物事犯の検挙人員の60.2%を占めており、依然として我が国の薬物対策における最重要課題となっている。

その主な特徴としては、暴力団構成員等が検挙人員の4割以上を占めていることや、30歳代及び40歳代の人口10万人当たりの検挙人員がそれぞれ他の年齢層に比べて多いことが挙げられる。

また、再犯者率が他の薬物に比べて高いことから、覚醒剤がとりわけ強い依存性を有しており、一旦乱用が開始されてしまうと継続的な乱用に陥る傾向があることがうかがわれる。

(2) 大麻事犯

大麻事犯の検挙人員は、平成26年以降増加が続き、令和2年も過去最多となった前年を大幅に上回る5,034人となった。

また、大麻事犯の検挙人員のうち、暴力団構成員等は751人と検挙人員の14.9%、外国人は292人と検挙人員の5.8%を占めている。

ア 年齢層別の検挙状況

人口10万人当たりの検挙人員でみると、近年、50歳以上においては、横ばいで推移している一方、その他の年齢層においては増加傾向にあり、特に若年層による増加が顕著である。

令和2年の人口10万人当たりの検挙人員は、20歳未満が12.9人、20歳代が20.1人と前年より大幅に増加しており、30歳代が7.1人、40歳代が2.5人、50歳以上が0.3人と僅かに減少した。

最も多い年齢層は20歳代、次いで20歳未満となっており、20歳未満の年齢別でみると、年齢が高いほど検挙人員が多い。

学識別では、高校生及び大学生の増加が顕著である。

〔大麻事犯年齢別検挙人員の推移〕

区分	年別		H28	H29	H30	R元	R 2
	大麻事犯	検挙人員	2,536	3,008	3,578	4,321	5,034
	人口10万人当たりの検挙人員	2.5	3.0	3.5	4.3	5.0	
年齢別	50歳以上	113	152	157	192	133	
	人口10万人当たりの検挙人員	0.2	0.3	0.3	0.4	0.3	
	構成比率 (%)	4.5	5.1	4.4	4.4	2.6	
	40～49歳	326	347	370	502	459	
	人口10万人当たりの検挙人員	1.8	1.8	2.0	2.7	2.5	
	構成比率 (%)	12.9	11.5	10.3	11.6	9.1	
	30～39歳	899	1,038	1,101	1,068	1,015	
	人口10万人当たりの検挙人員	5.8	6.8	7.3	7.3	7.1	
	構成比率 (%)	35.4	34.5	30.8	24.7	20.2	
	20～29歳	988	1,174	1,521	1,950	2,540	
	人口10万人当たりの検挙人員	7.9	9.4	12.2	15.5	20.1	
	構成比率 (%)	39.0	39.0	42.5	45.1	50.5	
	20歳未満	210	297	429	609	887	
	人口10万人当たりの検挙人員	3.0	4.1	6.0	8.7	12.9	
	構成比率 (%)	8.3	9.9	12.0	14.1	17.6	
	うち中学生	2	2	7	6	8	
	うち高校生	32	53	74	109	159	
	大学生	40	55	100	132	219	

注1：算出に用いた人口は、各前年の総務省統計資料「10月1日現在人口推計」又は「国勢調査結果」による。

注2：20歳未満の人口10万人当たりの検挙人員は14歳から19歳までの人口を基に、50歳以上の人口10万人当たりの検挙人員は50歳から79歳までの人口を基にそれぞれ算出。

〔大麻事犯 20歳未満の年齢別検挙人員の推移〕

区分	年別		H28	H29	H30	R元	R 2
	大麻事犯	検挙人員	210	297	429	609	887
年齢別	19歳	102	129	185	294	430	
	18歳	64	84	128	164	238	
	17歳	32	49	68	97	136	
	16歳	9	28	26	42	65	
	15歳	2	6	18	11	15	
	14歳	1	1	4	1	3	

イ 犯者率

大麻事犯の初犯者率は78.9%と、近年の横ばい傾向が継続している。

〔大麻事犯の初犯者率の推移〕

区分		年別										
大麻事犯	検挙人員		1,648	1,603	1,555	1,761	2,101	2,536	3,008	3,578	4,321	5,034
	初犯者数		1,323	1,292	1,208	1,385	1,613	1,962	2,294	2,741	3,355	3,974
	初犯者率(%)		80.3	80.6	77.7	78.6	76.8	77.4	76.3	76.6	77.6	78.9
	年齢別	50歳以上	62.7	62.0	46.3	71.6	57.7	66.4	60.5	64.3	58.9	55.6
		40~49歳	74.1	71.0	71.1	69.3	66.5	70.6	66.0	64.9	67.1	67.5
		30~39歳	77.8	79.2	78.0	79.4	75.1	74.6	70.9	69.7	71.1	71.3
		20~29歳	83.6	85.0	81.5	81.0	80.9	80.5	82.6	81.2	81.8	81.0
		20歳未満	91.4	93.9	93.2	91.3	91.7	91.0	89.9	92.8	90.3	91.2

ウ 違反態様別の検挙状況

違反態様別でみると、所持事犯が4,121人、譲渡事犯が274人、譲受事犯が206人、密輸入事犯が53人、栽培事犯が232人となっており、所持事犯が検挙人員の81.9%を占めている。また、栽培事犯の検挙人員は、前年より大幅に増加した。

〔大麻栽培事犯検挙状況の推移〕

区分		H28	H29	H30	R元	R 2
検挙件数		144	191	175	172	257
検挙人員		116	138	152	164	232
暴力団構成員等		35	53	25	42	46

エ 大麻事犯の主な特徴

大麻事犯の検挙人員は、薬物事犯の検挙人員の35.8%を占めており、その割合は覚醒剤事犯に次いで多くなっている。

その主な特徴としては、初犯者率が高いことのほか、特に20歳未満、20歳代の人口10万人当たりの検挙人員がそれぞれ大幅に増加しており、若年層による乱用傾向が増大していることが挙げられる。

3 薬物の押収状況

薬物種類別でみると、覚醒剤が437.2キログラムと大幅に減少し、5年ぶりに1,000キログラムを割り込んだ。

乾燥大麻は265.1キログラム、大麻樹脂は3.4キログラムと減少したが、大麻草は9,893本と増加した。

MDMAは90,218錠と大幅に増加しており、近年の増加傾向が顕著である。

〔薬物種類別押収量の推移〕

種類		年別										
覚醒剤	(kg)	H28	H29	H30	R元	R 2	(錠)	H28	H29	H30	R元	R 2
	(錠)	1,495.4	1,118.1	1,138.6	2,293.1	437.2	5	138	5	261	64	5
乾燥大麻	(kg)	133.1	176.3	280.4	350.2	265.1						
大麻樹脂	(kg)	0.9	20.7	2.9	12.8	3.4						
大麻草	(本)	13,660	17,324	4,456	8,074	9,893						
	(kg)	42.3	67.5	23.0	33.2	37.9						
合成麻薬	(錠)	5,021	3,181	12,303	73,935	90,322						
MDMA	(錠)	5,019	3,109	12,274	73,874	90,218						
コカイン	(kg)	18.3	9.6	42.0	34.9	23.4						
ヘロイン	(kg)	0.0	70.3	0.0	0.0	14.8						
あへん	(kg)	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0						

注1：覚醒剤の押収量(kg)は、錠剤型覚醒剤を含まない。

注2：大麻草の押収量(kg)は、本数として計上できない形状のものを示す。

注3：合成麻薬の押収量は、覚醒剤とMDMA等の混合錠剤を含む。

4 危険ドラッグ事犯の検挙状況

(1) 危険ドラッグ事犯の検挙状況

危険ドラッグ事犯の検挙状況は138事件、150人と前年に引き続き減少した。

適用法令別でみると、指定薬物に係る医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（以下「医薬品医療機器法」という。）違反は前年に引き続き減少したが、麻薬及び向精神薬取締法違反は横ばいである。

また、危険ドラッグ事犯のうち、暴力団構成員等による事犯は5事件、8人、外国人による事犯は30事件、33人、少年による事犯は2事件、2人となっている。

[危険ドラッグに係る適用法令別検挙状況の推移]

区分	年別		H28		H29		H30		R元		R 2	
	事件数	人員	事件数	人員								
指定薬物に係る医薬品医療機器法違反	713	758	555	578	336	346	159	165	123	131		
乱用者による単純所持・使用等	495	519	390	404	231	235	119	123	80	82		
麻薬及び向精神薬取締法違反	115	126	56	56	45	48	16	17	15	19		
交通関係法令違反	8	7	1	1	1	1	0	0	0	0		
その他法令違反	28	29	16	16	1	1	0	0	0	0		
合計	864	920	628	651	383	396	175	182	138	150		

(2) 危険ドラッグ乱用者の検挙状況

危険ドラッグ事犯のうち、危険ドラッグ乱用者の検挙人員は140人（構成比率93.3%）となっている。

ア 年齢層別の検挙状況

年齢層別の構成比率を前年と比較すると、20歳代及び50歳以上の占める割合が増加しており、30歳代及び40歳代の占める割合は減少している。

[危険ドラッグ乱用者の年齢別検挙人員の推移]

区分	年別		H28	H29	H30	R元	R 2
	危険ドラッグ乱用者	検挙人員	838	605	368	172	140
危険ドラッグ乱用者	年齢層別	50歳以上	125	105	67	32	41
		構成比率 (%)	14.9	17.4	18.2	18.6	29.3
	40～49歳	293	208	135	65	34	
		構成比率 (%)	35.0	34.4	36.7	37.8	24.3
	30～39歳	261	196	109	47	32	
		構成比率 (%)	31.1	32.4	29.6	27.3	22.9
	20～29歳	145	94	56	27	31	
		構成比率 (%)	17.3	15.5	15.2	15.7	22.1
	20歳未満	14	2	1	1	1	2
		構成比率 (%)	1.7	0.3	0.3	0.6	1.4

イ 薬物経験別の検挙状況

薬物経験別でみると、薬物犯罪の初犯者が97人（構成比率69.3%）、薬物犯罪の再犯者が43人（同30.7%）となっている。

ウ 危険ドラッグの入手状況

入手先別でみると、インターネットを利用して危険ドラッグを入手した者の割合が50.7%と最も高い。

[危険ドラッグ乱用者の入手先別検挙人員の推移]

区分	年別		H28	H29	H30	R元	R 2
	危険ドラッグ乱用者	検挙人員	838	605	368	172	140
危険ドラッグ乱用者	入手先別	街頭店舗	130	84	33	10	3
		構成比率 (%)	15.5	13.9	9.0	5.8	2.1
	インターネット	353	227	166	63	71	
		構成比率 (%)	42.1	37.5	45.1	36.6	50.7
	友人・知人	93	77	45	30	18	
		構成比率 (%)	11.1	12.7	12.2	17.4	12.9
	密売人	71	55	32	19	6	
		構成比率 (%)	8.5	9.1	8.7	11.0	4.3
	その他・不明	191	162	92	50	42	
		構成比率 (%)	22.8	26.8	25.0	29.1	30.0

★トピックス

大麻乱用者の実態

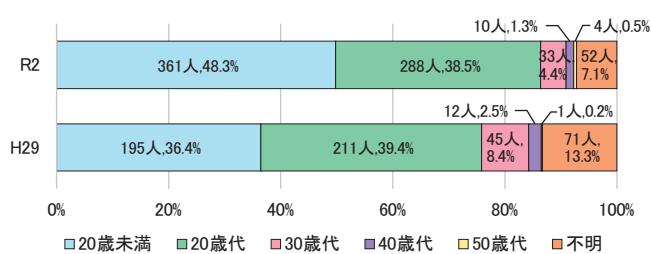
令和2年10月から同年11月までの間に大麻取締法違反（単純所持）で検挙された者うち748人について、捜査の過程において明らかとなった大麻使用の経緯、動機、認識等は次のとおりである（これらと対比した平成29年（「H29」）の記載については、平成29年10月から同年11月までの間に大麻取締法違反（単純所持）で検挙された者うち535人についてとりまとめたもの。）。

○大麻を初めて使用した年齢

対象者が初めて大麻を使用した年齢は、20歳代以下の若年層で86.8%を占め、最年少は12歳（2人）であった。

初回使用年齢層の構成比を29年と比較すると、「20歳未満」が195人・36.4%から361人・48.3%に増加しており、若年層の中でも特に「20歳未満」での乱用拡大が懸念される（図表1）。

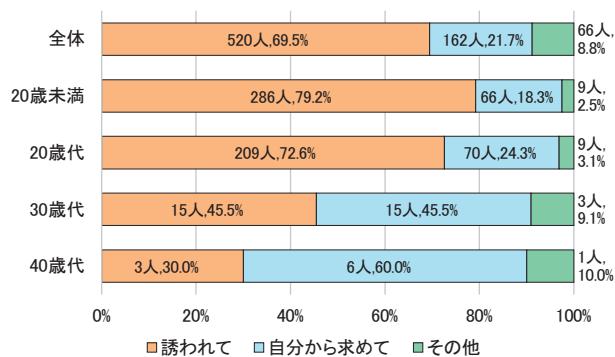
図表1：初回使用年齢層構成比【R2とH29の比較】



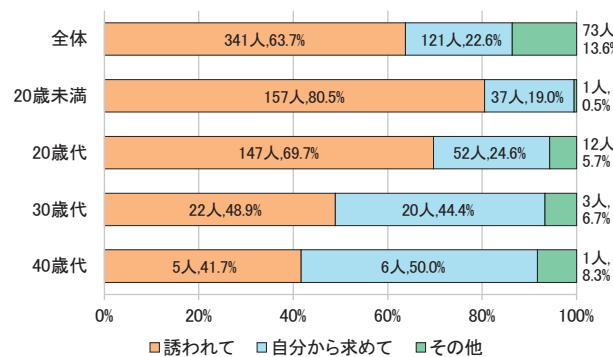
○大麻を初めて使用した経緯、動機

大麻を初めて使用した経緯は、「誘われて」が最多であり、初めて使用した年齢が低いほど、誘われて使用する比率は高く、その傾向は29年と同様に「20歳未満」が最多である（図表2、3）。

図表2：大麻を初めて使用した経緯【R2】（初回使用年齢層別）



図表3：大麻を初めて使用した経緯【H29】（初回使用年齢層別）



また、その時の動機については、「好奇心・興味本位」、「その場の雰囲気」の順に多く、初めて使用した年齢が低いほど「その場の雰囲気」の割合が高くなる傾向にあり、また、「20歳未満」の「その他」の回答の中には「仲間外れにされないため」などの回答があった。

29年においても同様で、若年層ほど身近な環境に影響されやすい傾向にあることがうかがわれた（図表4、5）。

図表4：大麻を初めて使用した動機【R2】
(初回使用年齢層別・複数回答)

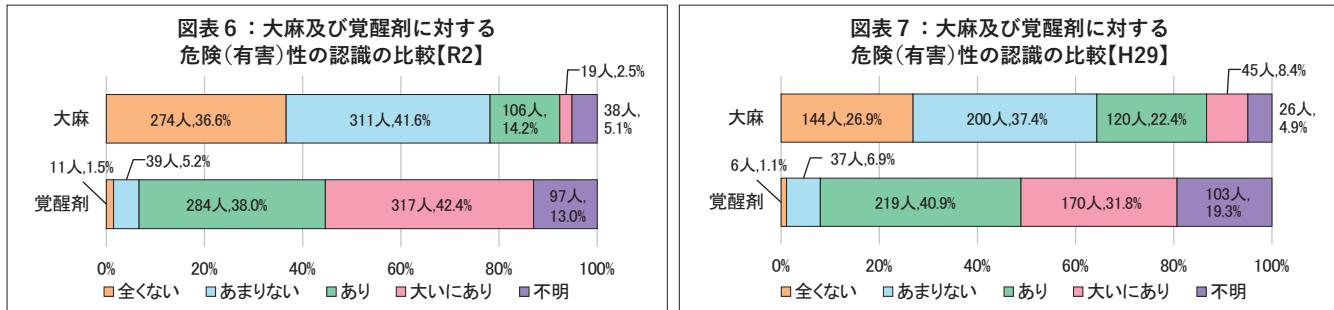
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	全体
好奇心・興味本位	57.0%	52.5%	40.0%	53.8%	53.8%
その場の雰囲気	18.5%	15.8%	2.0%	15.4%	16.4%
クラブ・音楽イベント等の高揚感	4.8%	5.3%	8.0%	0.0%	5.1%
パーティ感覚	3.2%	3.2%	2.0%	0.0%	3.0%
ストレス発散・現実逃避	4.5%	11.3%	24.0%	15.4%	8.6%
多幸感・陶酔効果を求めて	8.8%	5.5%	14.0%	0.0%	7.3%
その他	3.2%	6.4%	10.0%	15.4%	5.8%

図表5：大麻を初めて使用した動機【H29】
(初回使用年齢層別・複数回答)

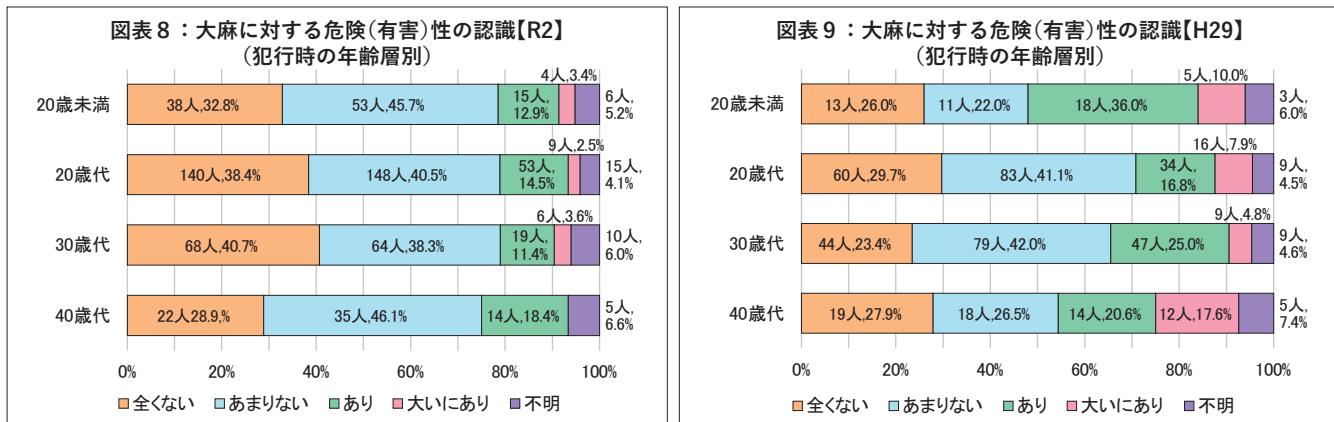
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	全体
好奇心・興味本位	66.3%	59.2%	43.5%	42.9%	54.9%
その場の雰囲気	18.6%	12.4%	8.7%	7.1%	13.4%
クラブ・音楽イベント等の高揚感	4.9%	8.9%	4.3%	0.0%	6.1%
パーティ感覚	2.7%	2.8%	1.4%	0.0%	2.4%
ストレス発散・現実逃避	2.3%	5.0%	20.3%	42.9%	5.9%
多幸感・陶酔効果を求めて	3.4%	6.4%	14.5%	7.1%	5.9%
その他	1.9%	5.3%	7.2%	0.0%	11.4%

○大麻に対する危険（有害）性の認識

大麻に対する危険（有害）性の認識は「なし（全くない・あまりない。以下同じ。）」が78.2%であり、覚醒剤の危険（有害）性と比較して大麻の危険（有害）性の認識は低い。29年と比較すると、大麻の「なし」の割合だけが13.9ポイント増加しており、大麻の危険（有害）性の認識だけが一層低くなっていることが確認できた（図表6、7）。

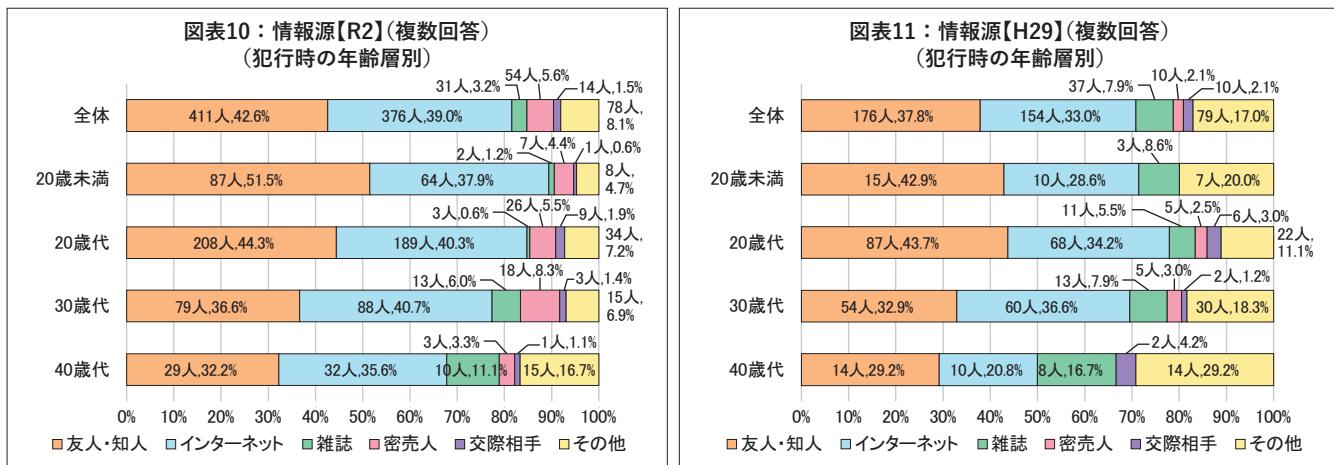


犯行時の年齢層別での大麻に対する危険（有害）性の認識は、どの年齢層でも大差はないが、29年と比較すると、特に「20歳未満」において「なし」の割合が30.5ポイントと大きく増加している（図表8、9）。



○大麻に対する危険（有害）性を軽視する情報源

年齢層を問わず、大麻に対する危険（有害）性を軽視する情報を「友人・知人」や「インターネット」から入手している状況が確認できた（図表10、11）。



情報源について、割合が高い「友人・知人」と「インターネット」を比較すると、年齢層が低いほど、より身近な「友人・知人」の割合が大きい傾向にある。令和2年においては、その傾向が特に少年で顕著であり、ここからも、若年になるほど、より身近な環境に影響されやすい傾向がうかがわれる。

特に少年は、心身が未発達であり、社会的・経済的な基盤も形成途上であることを踏まえると、周囲の環境を健全化させることが急務である。大麻を容易に入手できないように組織的な栽培・密売を始めとする違法な行為を厳正に取締ることに加えて、SNS等のインターネット上の違法情報・有害情報の排除や、大麻の危険（有害）性を正しく認識して周囲からの誘いを断ることができるように広報啓発活動を含めた更なる取組が必要である。

○「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金適正化委員会

2021年度国連支援募金適正化委員会は、2022年2月3日の開催を予定していましたが、開催直前の急激な新型コロナ感染者の罹患状況を鑑み、開催形式を対面方式から書面方式に変更して開催され、2021年度募金運動結果報告（募金総額26,222,044円）及び国連寄付金（12,000,000円）等の審議事項について了承されました。

○「がん疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会」の開催状況

この講習会は、WHO方式がん疼痛治療法の医療関係者への普及を図り、医療用麻薬の適正使用による疼痛治療を進めるため、医師、薬剤師等による実践的な講演を中心とした学術講演会として開催しています。

2021年度は厚生労働省等との共催の下、9月から翌年2月まで全国8か所での開催を予定していましたが、新型コロナウィルス感染症の影響から鹿児島会場を中止した以外は、会場参加とオンライン参加を併用したハイブリッド方式等により大阪、北海道、福島、埼玉、三重、岡山、愛媛の7会場で開催しました。

【2021年度開催状況】

	月 日	開 催 地	備 考
1	2021. 9. 25	大阪府（オンライン方式）	青森県立中央病院等よりライブ配信
2	2021. 10. 16	北海道（ハイブリッド方式）	会場（ACU-A大研修室）
3	2021. 11. 6	三重県（ハイブリッド方式）	会場（三重大学医学部講義室）
4	2021. 11. 13	福島県（ハイブリッド方式）	会場（福島県立医科大学第二臨床講義室）
5	2021. 12. 11	埼玉県（ハイブリッド方式）	会場（J A共済埼玉ビル大会議室）
6	2021. 12. 25	愛媛県（ハイブリッド方式）	会場（愛媛県医師会館）
7	2022. 2. 5	岡山県（オンライン方式）	岡山済生会総合病院等よりライブ配信
※開催中止		鹿児島県	

○調査・研究活動報告

『若年者を対象としたより効果的な薬物乱用予防啓発活動の実施等に関する研究』

令和3年度 第2回研究班会議が開催されました。（2022年1月25日）

当時は会場参加とオンライン参加に分かれ定時13:30より開会、研究代表者永沼先生及び財団藤野理事長の挨拶に続き、厚生労働省監視指導・麻薬対策課竹内補佐より2年目となる本研究事業について確認の後、各研究分担者より順次これまでの研究成果の発表が行われ、16:30予定通り閉会しました。

なお、今後も、引き続き各研究分担者が研究を進め、その後、研究代表者が最終とりまとめを行い、研究報告書は5月中の発刊を予定しています。



○厚生労働大臣感謝状の伝達

令和3年度麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動の実施にあたり、一般社団法人日本ライオンズ（仁科理事長）に対し、永年わたり薬物乱用防止啓発活動に積極的に参加され多大の貢献をされた功績を称えて、厚生労働大臣感謝状が授与されました。

厚生労働省からの依頼を受けて、12月16日、当財団の藤野理事長より、日本ライオンズの仁科理事長に感謝状及び記念品が伝達されました。



薬物乱用防止活動に携わるすべての方々に、
そして何より10～20代の若い人たちに、
今、伝えたいこと。

あなたに知ってもらいたい 薬物のはなし



—日本からの「国連支援募金」は世界中の薬物乱用防止プロジェクトに活かされています。—

世界中、どの国や地域においても、薬物治療施設などを訪ねてみれば、そこにいるのは大半が若い人たちであり、問いかければ、どこでも同じ2つの答えが返ってきます。

「薬物がこんなに危険なものとは知らなかった」として「友達から誘われた」と。

若い世代が薬物問題について正確な知識を持ち、自分たち自身で考えるようになることが、薬物乱用から身を守る第一歩だと、私たちは確信しています。

この本はその目的で書かれました。

(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター

■2021年10月発行 B5判52ページ 600円（税込）

■お申込みはこちらから <https://dapc.or.jp/order/>

はじめに
~特に保護者・指導にある方々へ~

1909年2月1日、日本を含む13カ国の代表が上海に集まり、国際的な麻薬の規制が始まりました。その後、1世紀以上わたって国際基準規制条約は締結されました。

さうにからず、問題は自己規制を立てて、まず乱用の防止が最も重要なであるとの懸念を表しました。その一例が、早期発見、治療、教育、アフターケアを中心とした社会的支援にあります。医療での徹底工夫が必要だとしています。

世界中、どの国や地域においても、薬物治療問題などを認めてみれば、そこには必ずが若者たちがあり、特に10代、20代の若者たちがいることが多いのです。問題がこんなに危険なものだと知らなかった」として「友達から誘われた」と。

若者が問題に直面して正確な知識を持ち、自分たち自身でできるようになると、薬物乱用から身を守る第一歩だと、私たちは確信しています。このことは、その目的で書かれました。

知るとならないで、人生一大事な危険が生じます。ひとつでも多くの若者の知識を増やすことを願い、たくさんの人たちの手を経て、この本は作られました。

私たちは、素直に、かつ眞面目に、互いに語りかけ、ともに考えながら、地面の力を握りながらです。互いに力を與えて、日本の闇で、このような対話を引き継がれることを切に願います。

公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

「誘われて」「興味本位で」…若者の大麻乱用の実態

2020(令和2)年の10～11月に、は、はじめて使用した年齢が20代（288人）と20歳未満（361人）の7割以上が「誘われて」と答え、そのかけやめ、危険性の認識などについて調査したところ、次のような結果が出ました。

大麻の本質（有効性や効能について）では、全年代的把握（全くない）とされています。

まずは、全体の平均数が、未成年のときにははじめて大麻を使用したこと（あまりない）と答えています。20代を含むもので見ると、20代は「興味本位で」（大麻は興味で）大麻は活性性が少ない（大麻が興味でいる実態が明らかにならなかった）といった特徴があげられています。次に、乱用したきっかけについても、たった1箇所を記入しているためと考えられます。

+はじめて大麻を使用した年代の構成（2017年と2020年の比較）

年	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代
2017	19.2% (2,046人)	40.5% (4,373人)	30.1% (3,214人)	4.5% (481人)	4.8%	1.2% (132人)	—
2020	30.1% (3,214人)	28.3% (3,039人)	27.2% (2,941人)	4.5% (481人)	4.8%	—	—

出典：「日本における大麻の現状と課題」（2020年）

はじめておこう
日本の大麻事情

●さまざまな用途で使われる大麻

日本の大麻は用途で利用されることが多いとなっています。大麻草のうち、花葉、茎、未成熟の葉、根、種子などで、種子や成熟した茎（花茎）を剥いて乾燥されています。日本では、材料で大麻の花や葉を剥いて乾燥させ、日用品の包装などに、大麻の葉をそのまま使用してきました。その歴史は古く、幾千年前の遺跡から大麻を育てて子孫を出した例が、大麻の天皇が御殿後、墓中にわざわざ新規の墓上地として栽培植物は大麻でした。

●栽培できる個数を規制するためのヒント

①エビデンスリストでの情報
科学的情報（エビデンス）の情報レベルを示すリスト（エビデンスリスト）があり、「エビデンスリスト」と呼ばれています。ここでは科学的情報は常に下段に配置します。そこから数段の研究（比較・分析）を重ねることによって、最終的に結果に反映されるような程度である根拠レベルの

●インターネット上で書かれていることに過剰反応しない

インターネットには、さまざまな情報があります。それらの中から、信頼できる情報を得られる力を持つことは、薬物の問題に限らず、日々の生活の中で非常に重要です。

なぜなら、どういった情報があるのか、情報はどこか、それは何の根拠で正確な情報か、などについて確認してください。

研究や分析の根拠が、今は新しいことになっていることが更新されていく場合もあります。その時点での研究でここまでこれが分かっているのか、いつ発見された情報からも注目を向けることも大切です。

最後に、インターネットなどの情報から、信頼できるものを目線めるためのヒントをお伝えいたします。

＊信頼できる個数を規制するためのヒント

②エビデンスリストでの情報
科学的情報（エビデンス）の情報レベルを示すリスト（エビデンスリスト）があり、「エビデンスリスト」と呼ばれています。ここでは科学的情報は常に下段に配置します。そこから数段の研究（比較・分析）を重ねることによって、最終的に結果に反映されるような程度である根拠レベルの

ご寄付団体及び賛助会員

2021年8月5日から2022年2月10日までに、当センターにご寄付いただいた団体及びご入会いただいた賛助会員は次のとおりです。ご協力ありがとうございました。

〔ご寄付団体・個人〕

〔個人贊助會員〕

藤山 智雄 様(継続) 清水 享 様(継続) 神澤 正三 様(新規) 小池 和子 様(新規)



[公益財団法人 JKA 競輪補助事業 完了のお知らせ]

この度、2021年度の競輪の補助を受けて、下記の事業を完了いたしました。

本事業の実施により、青少年の薬物乱用に対する危険意識を高め、薬物乱用の予防啓発活動上大きな効果がありました。

記

事業名 2021年度 青少年の健やかな成長を育む活動補助事業

事業内容 (1) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の啓発メッセージ映像の作成・配布
(2) 情報誌「ニュースレター」の発行・配布

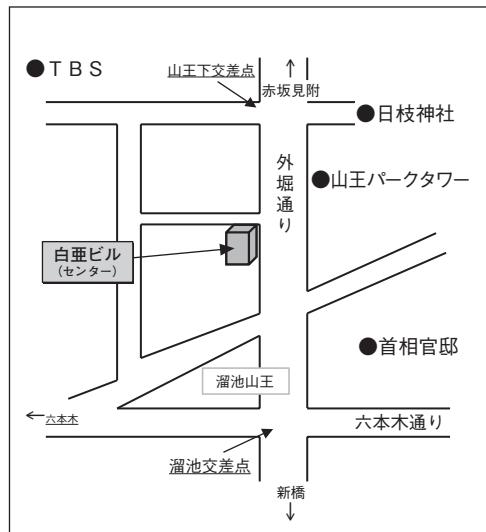
補助金額 1,120,260円

実施場所 東京都港区赤坂2-4-1

完了年月日 2021年9月16日



公益財団法人
麻薬・覚せい剤乱用防止センター
〒107-0052 東京都港区赤坂2-4-1(白亜ビル9F)
TEL.03(5544)8436~7 FAX.03(5544)8473
ホームページアドレス <http://www.dapc.or.jp>



マスクののどにも、 龍角散。

ゴホン！といえば
 龍角散
Ryukakusan

龍角散ダイレクトはのどの粘膜に
微粉末生薬成分が直接作用して、
のどに入り込んだ異物の排出を促進します。



※イメージ

※火山灰や PM2.5、花粉、バイ菌の飛散量は、時期や地域によって異なります。

水なしで飲む。
のど直接うるおう。 龍角散[®]ダイレクト

生薬製剤 シュガーフリー 眠くなる成分未配合



※龍角散ダイレクトシリーズ・龍角散
はいずれも小児から服用できます。
服用の際には、添付文書をよくお読みになり、用法・用量を守って正しく
お使いください。

※微粉末生薬成分がのどの粘膜に直接
作用する医薬品です。服用の際は、
医師、薬剤師、登録販売者にご相談
ください。

龍角散[®]
ダイレクト[®]
スティックピーチ

第3類医薬品 せき、たん、のどの炎症による声がれ・のどのあれ・のどの不快感

※「龍角散」「龍角散ダイレクト」「ゴホン！ といえば龍角散」は(株)龍角散の登録商標です。

お薬手帳に記録しましょう。

 株式会社 龍角散

東京都千代田区東神田 2-5-12 <https://www.ryukakusan.co.jp/>

お客様相談室 03-3866-1326 10:00 ~ 15:00 (土・日・祝日を除く)

この
5月18日は
サロンパスの日




HELLO!
ECO!

当社従来品に比べて
包装サイズを小さく
しました。



肩こり・腰痛・筋肉痛に

第3類医薬品

OTC
セルフディケーション
規格外対象

◎この商品に関するお問い合わせは、久光製薬お客様相談室へ。 0120-133250 受付時間／9:00~17:50 (土日・祝日・会社休日を除く) www.hisamitsu.co.jp

貼って、寝て、
きもちいい！ サロナパス[®]

あなたの、健康のそばに。



大正製薬



しあわせは、明日も健康であること。

人々の健康意識を高めること、日々の生活をOTC医薬品でサポートすること。
それが「セルフメディケーション」をスローガンに掲げる私たち大正製薬の使命。

OTC医薬品のリーディングカンパニーとして、
より優れた医療用薬品の開発に力を入れるチャレンジャーとして、
常に「生活者の健康でより豊かな暮らし」の実現を目指しています。

大正製薬株式会社 〒170-8633 東京都豊島区高田3-24-1 インターネットホームページ <https://www.taisho.co.jp>
◎製品についてのお問い合わせは【お客様119番室】電話03-3985-1800 受付時間8:30~17:00(土・日・祝日を除く)

小林製薬

肩こりに、 血行促進成分が 効く。

アンメルツは血行を促進して、
肩の筋肉に溜まった肩こりの原因物質*を流し、
肩こりをラクにします。
*肩こりの原因物質=疲労物質

肩こり、筋肉痛に

NEW アンメルツ ヨコヨコ A

第3類医薬品

※使用上の注意をよく読んでご使用ください。 ◎お買い求めはお近くの薬局・薬店・ドラッグストアへ

発売元／小林製薬株式会社 〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10 KDX小林道修町ビル

小林製薬お客様相談室 06-6203-3625 (受付時間 9:00~17:00 土・日・祝日を除く) <https://www.kobayashi.co.jp/>

